

平成29年度（2017年度）

市民意識調査結果報告書

（案）



平成29年7月

南丹市企画政策部 定住・企画戦略課

I アンケート調査の概要

1	調査目的	1
2	調査対象	1
3	調査方法	1
4	調査期間	1
5	配布状況	1
6	調査項目	2

II アンケート調査結果

1	回答者の属性	3
2	市民意識調査結果	
1)	南丹市は住みやすいまちだと思うか	8
2)	南丹市は住みやすいと思う理由	9
3)	南丹市は住みにくいと思う理由	11
4)	今後も南丹市に住み続けたいか	13
5)	合併から11年が経過して、合併によって良くなったと思えること	14
6)	合併から11年が経過して、今後期待すること	16
7)	合併してからの不満や不安に思うこと	18
8)	将来の南丹市をどのようなまちにしたいか	19
9)	旧町それぞれが、その強みを活かしたまちづくりに取り組んだ方がいいと思うか	21
10)	南丹市が住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思うか	22
11-1)	過去1年間で、地域活動や市民による自主的な活動に参加したか	23
11-2)	活動の際に、NPOやボランティア団体、地域団体に参加したか	24
12)	もっと住みよいまちにするために、市民はどのようなことができるか	25
13)	『地域のまちづくりに参加する』とすれば、どのようなことができるか	27
14)	風俗や伝統、文化などを自分たちが引き継いでいかなければならないと思うか	29
15)	大学などとの交流・連携が活発に行われていると思うか	30
16)	安心して子育てのできるまちだと思うか	31
17)	地域全体で子育てを支援する仕組みづくりができていると思うか	32
18)	子どもたちが、適切な教育環境で学んでいると思うか	33
19)	乳幼児への保育・教育が充実していると思うか	34
20)	安心して医療を受けられる体制ができていると思うか	35
21)	高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思うか	36
22)	障がいのある人にとって、安心して暮らせるまちだと思うか	37

目次

23)	妊婦の人にとって、安心して暮らせるまちだと思うか	38
24)	南丹市の商店街（商業）はにぎわっていると思うか	39
25)	南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入しているか	40
26)	南丹市において、自然環境が守られていると思うか	41
27)	南丹市において、建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと思うか	42
28)	市政についての情報が的確に得られていると感じるか	43
29)	災害に関する情報が、市からの確に発信される体制が整備されていると思うか	44
30)	災害に備えて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などを行っているか	45
31)	防災の面で、安心して暮らせるまちだと思うか	46
32)	性別や国籍、身体的障がいなどによる差別が減っていると感じるか	47
33)	過去1年間に、人権問題に関する勉強会などに参加したことがあるか	48
34)	税金が南丹市のまちづくりに効果的に活用されていると思うか	49
35)	定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきか	50
36-1)	総合的に見て、南丹市が行っている行政サービスに満足しているか	52
36-2)	南丹市が行っている行政サービスに満足していない点	53
37-1)	南丹市への来訪者を増やすためには何をすべきだと思うか	53
37-2)	南丹市への定住者を増やすためには何をすべきだと思うか	54
38)	あなたにとっての「南丹市のお宝」、「南丹市の誇り」は何か	55
39)	南丹市のまちづくりに対する提案や意見	56

《参考資料》 市民意識調査 調査票



アンケート調査の概要

1 調査目的

本調査は、南丹市総合振興計画および後期基本計画の計画期間の終わりが近づくに当たり、市民が日頃感じている事柄や、これからのまちづくりに対する意向など、市民意識を把握し、その結果を基に第2次南丹市総合進行計画策定の基礎資料として活用することを目的とする。

2 調査対象

南丹市に住む18歳以上の市民から2,500人を無作為に抽出

3 調査方法

郵送配布・郵送回収

4 調査期間

平成29年4月28日～平成29年5月12日

5 配布状況

年代	性別	アンケート送付数															想定回答数 40.0%
		園部			八木			日吉			美山			計			
		均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	
10歳代	男	20	46	66	20	24	44	20	18	38	20	10	30	80	98	178	71
	女	20	48	68	20	30	50	20	25	45	15	0	15	75	103	178	71
20歳代	男	20	46	66	20	25	45	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
	女	20	46	66	20	25	45	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
30歳代	男	20	46	66	20	25	45	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
	女	20	46	66	20	25	45	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
40歳代	男	20	46	66	20	25	45	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
	女	20	46	66	20	25	45	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
50歳代	男	20	46	66	20	25	45	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
	女	20	46	66	20	25	45	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
60歳代	男	20	46	66	20	25	45	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
	女	20	46	66	20	25	45	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
70歳代以上	男	20	45	65	20	24	44	20	14	34	20	14	34	80	97	177	71
	女	20	45	65	20	24	44	20	14	34	20	14	34	80	97	177	71
計	男	140	321	461	140	173	313	140	102	242	140	94	234	560	690	1,250	500
	女	140	323	463	140	179	319	140	109	249	135	84	219	555	695	1,250	500
合計		280	644	924	280	352	632	280	211	491	275	178	453	1,115	1,385	2,500	1,000

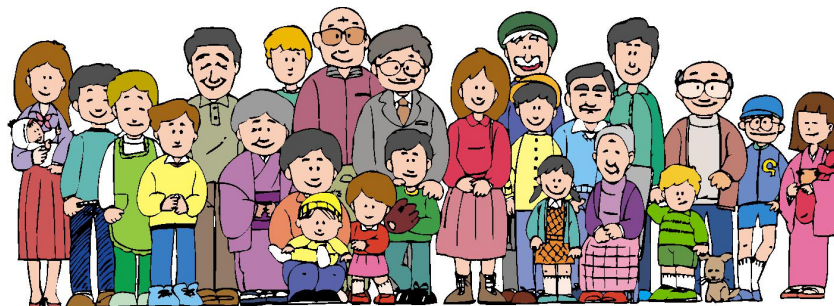
	送付数 (A)	有効回収数 (B)	回収率 (B/A)
今回調査 (H29)	2,500通	683件	27.3%
平成24年度調査	2,400通	996件	41.5%

■ | アンケート調査の概要

6 調査項目

1. 南丹市全般について
2. 合併に対する評価について
3. 南丹市の将来について
4. まちづくりへの参加について
5. 子育てについて
6. 医療・福祉について
7. 商業や生活環境について
8. 防災について
9. 社会問題について
10. 行政サービスについて
11. まちづくりについての意見・提案

※本集計結果については、端数処理の関係で各項目の割合等は必ずしも合計欄等の数値とは一致していない場合があります。



アンケート調査結果

1 回答者の属性

配布数：2,500人 回答数：683人（回答率27.3%）

今回実施した市民意識調査の回答率は、平成24年度調査より14.2ポイント減少となりました。
男女別・年代別に見ると、男女ともに60歳代以上の回答が最も多く、10歳代の回答が最も少なくなっています。また、平成24年度調査との比較では全年代の中で、10歳代の比率が最も減少しています。

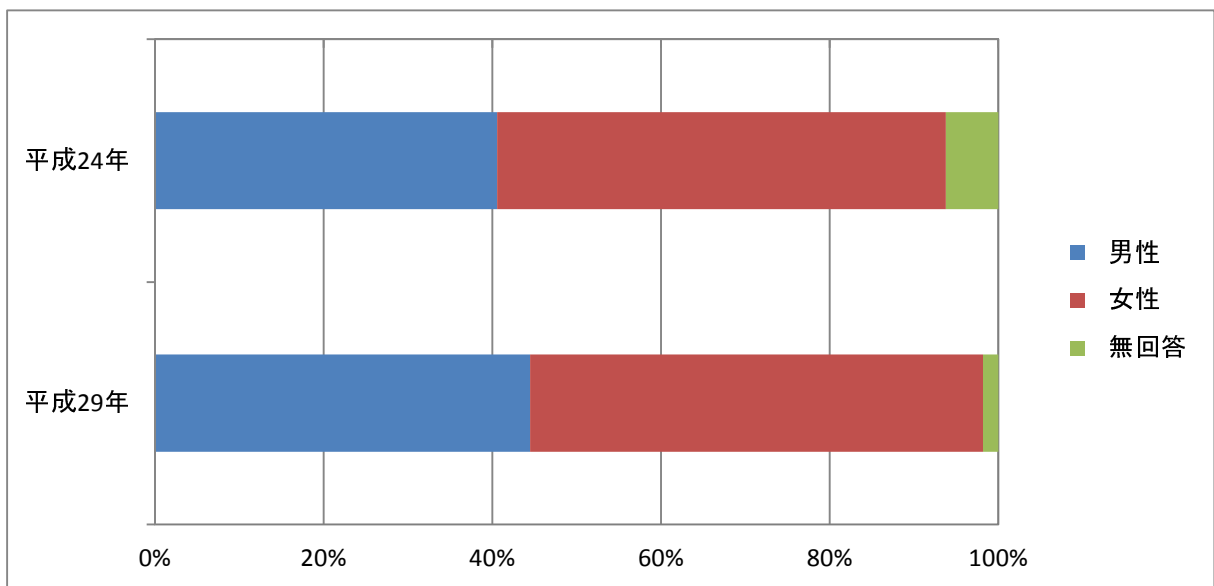
※平成24年度調査との比較について：

平成28年度にも市民意識調査を実施していますが、南丹市総合振興計画後期基本計画策定時と計画期間の最終年度との比較をすることで、後期基本計画による市民の意向等の変化を把握しやすくするため、後期基本計画策定年度である平成24年度実施の市民意識調査を比較対象としています。

なお、平成24年度調査には含まれていない設問については、今回より新たに追加された設問を除き、平成28年度調査を比較対象としています。

◆ 性別

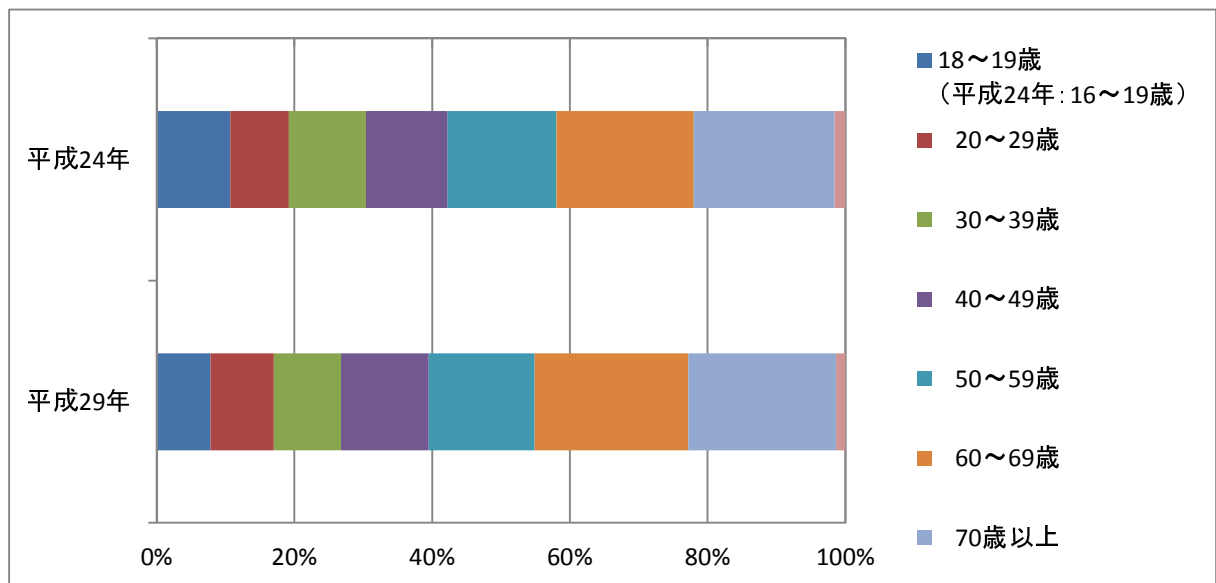
選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
男性	404	40.6	304	44.5
女性	530	53.2	367	53.7
無回答	62	6.2	12	1.8
合計	996	100.0	683	100.0



II アンケート調査結果

◆ 年齢

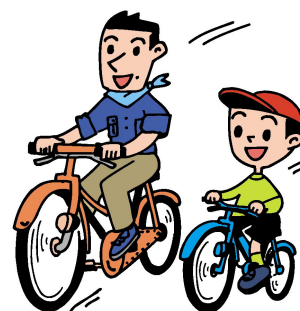
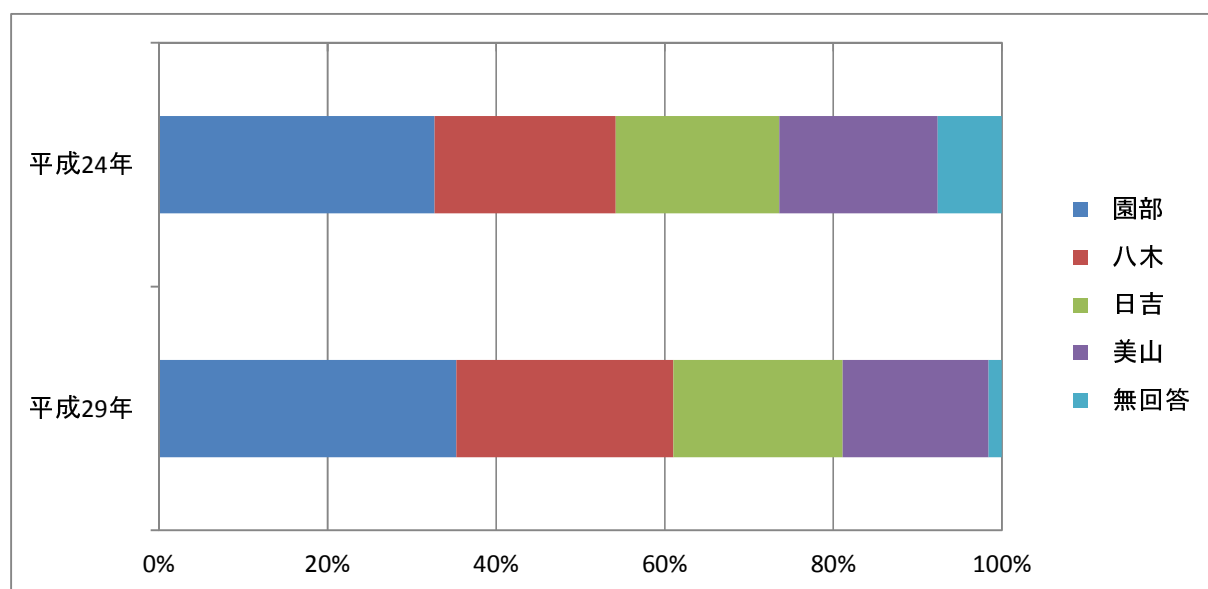
選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
18～19歳(平成24年:16～19歳)	107	10.7	53	7.8
20～29歳	85	8.5	63	9.2
30～39歳	112	11.2	67	9.8
40～49歳	118	11.8	87	12.7
50～59歳	157	15.8	105	15.4
60～69歳	198	19.9	152	22.3
70歳以上	203	20.4	147	21.5
無回答	16	1.6	9	1.3
合計	996	100.0	683	100.0



II アンケート調査結果

◆ 住所

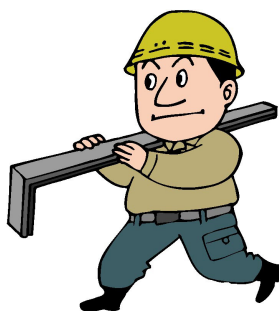
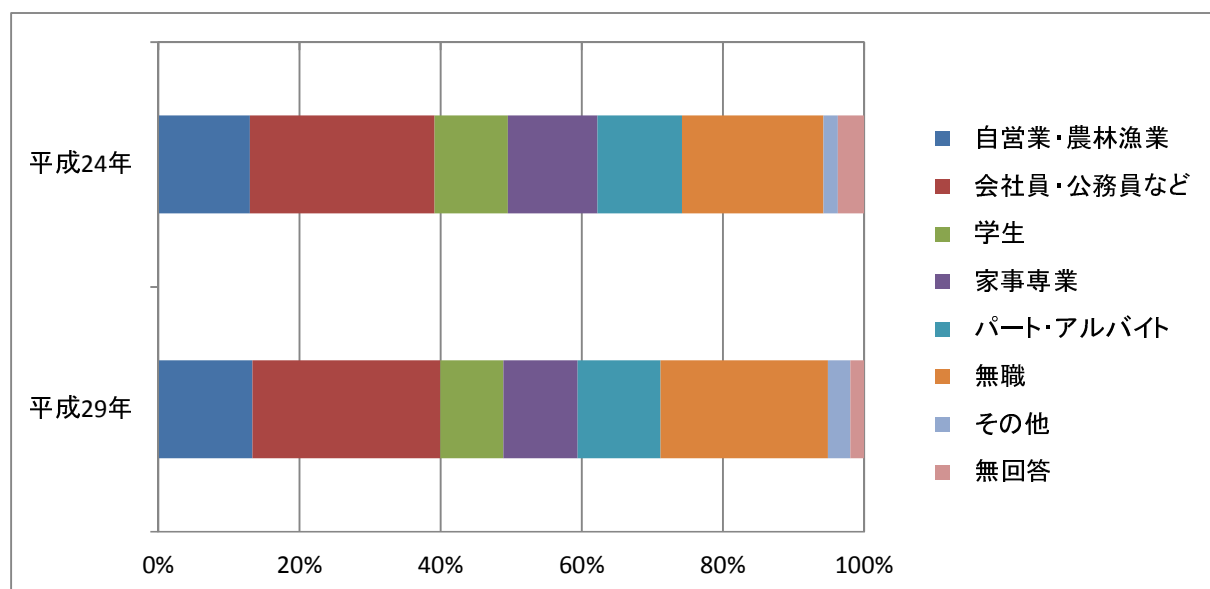
選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
園部	326	32.7	241	35.3
八木	214	21.5	176	25.8
日吉	193	19.4	137	20.1
美山	187	18.8	118	17.3
無回答	76	7.6	11	1.6
合計	996	100.0	683	100.0



アンケート調査結果

職業

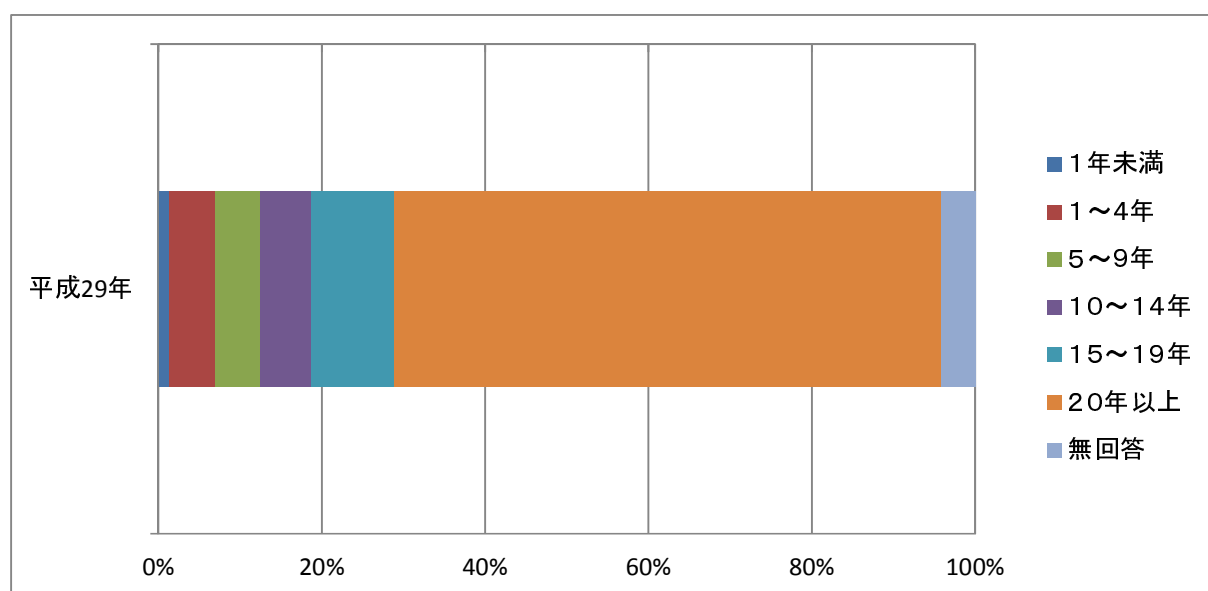
選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
自営業・農林漁業	129	13.0	91	13.3
会社員・公務員など	261	26.2	182	26.6
学生	103	10.3	61	8.9
家事専業	127	12.8	72	10.5
パート・アルバイト	119	11.9	80	11.7
無職	200	20.1	162	23.7
その他	20	2.0	22	3.2
無回答	37	3.7	13	1.9
合計	996	100.0	683	100.0



II アンケート調査結果

◆ 居住年数

選 択 肢	-		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1年未満	0	0.0	9	1.3
1～4年	0	0.0	39	5.7
5～9年	0	0.0	37	5.4
10～14年	0	0.0	43	6.3
15～19年	0	0.0	70	10.2
20年以上	0	0.0	456	66.8
無回答	0	0.0	29	4.2
合計	0	0.0	683	100.0



II アンケート調査結果

2 市民意識調査結果

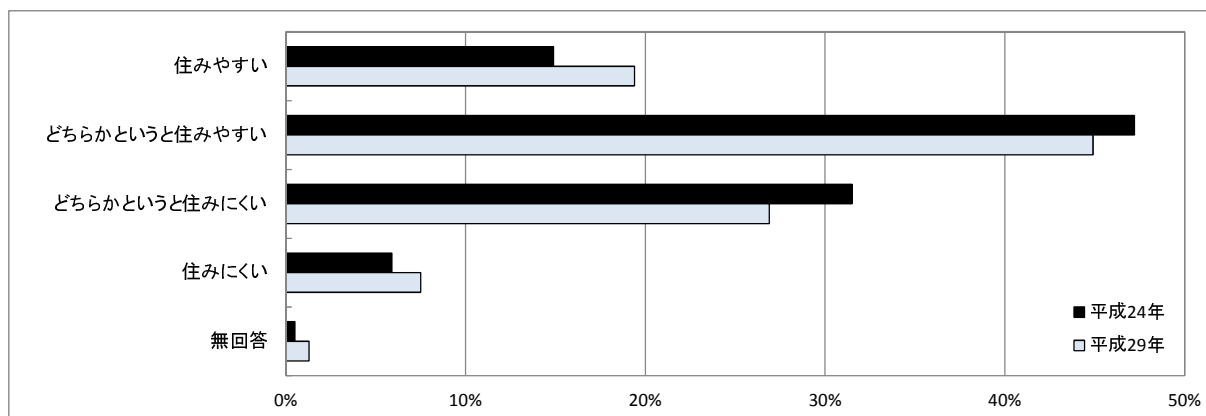
■調査結果の見方

◎この調査結果は、平成24年度、または平成28年度に実施した同様のアンケート調査の結果を並べて比較したものです。

1

南丹市は住みやすいまちだと思いますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
住みやすい	148	14.9	132	19.4
どちらかというに住みやすい	470	47.2	307	44.9
どちらかというに住みにくい	314	31.5	184	26.9
住みにくい	59	5.9	51	7.5
無回答	5	0.5	9	1.3
合計	996	100.0	683	100.0



市民の3人に2人が南丹市は「住みやすいまち」と回答

「住みやすい」または「どちらかというに住みやすい」と回答された方は64.3%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

一方、「どちらかというに住みにくい」または「住みにくい」と回答された方は34.4%と、平成24年度調査より3.0ポイント減少しています。

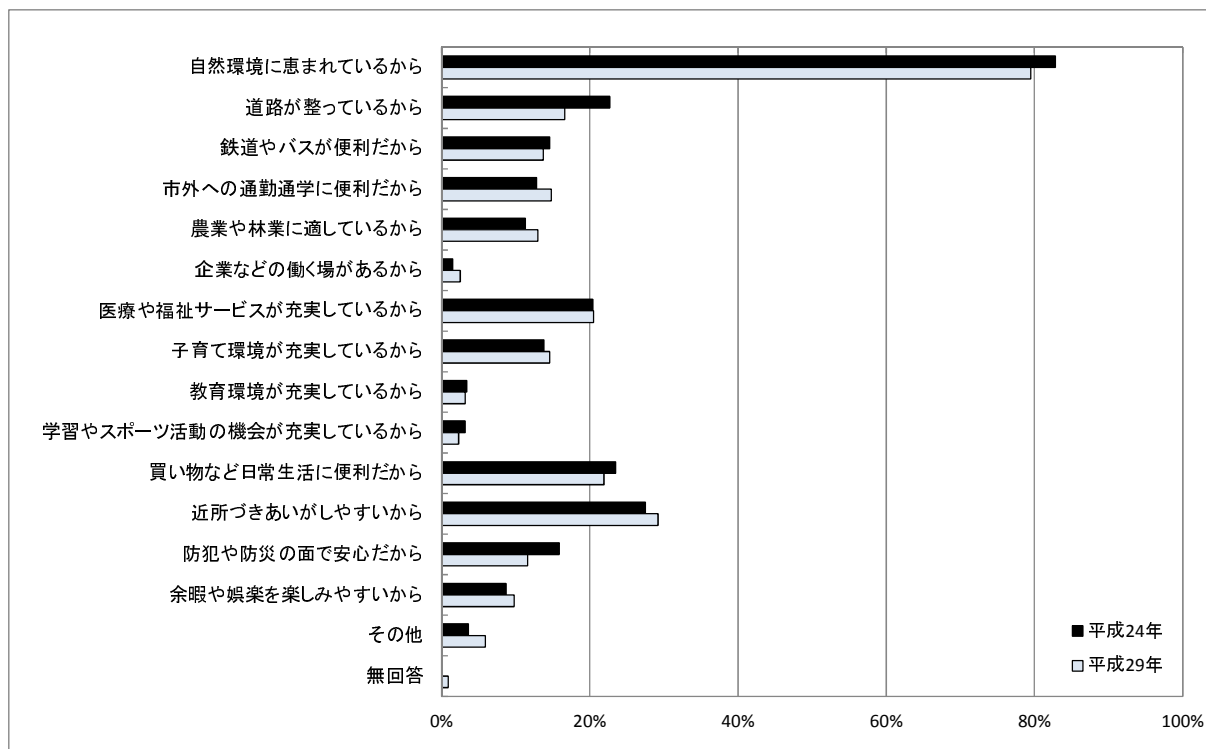
地域別にみると、園部・八木では「住みやすい」または「どちらかというに住みやすい」と回答された方は6割以上となっている一方、日吉・美山では「どちらかというに住みにくい」または「住みにくい」と回答された方は約4割となっています。

II アンケート調査結果

2

住みやすいと思う理由は何ですか。《3つまで選択》

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
自然環境に恵まれているから	512	82.8	349	79.5
道路が整っているから	140	22.7	73	16.6
鉄道やバスが便利だから	90	14.6	60	13.7
市外への通勤通学に便利だから	79	12.8	65	14.8
農業や林業に適しているから	70	11.3	57	13.0
企業などの働く場があるから	9	1.5	11	2.5
医療や福祉サービスが充実しているから	126	20.4	90	20.5
子育て環境が充実しているから	85	13.8	64	14.6
教育環境が充実しているから	21	3.4	14	3.2
学習やスポーツ活動の機会が充実しているから	20	3.2	10	2.3
買い物など日常生活に便利だから	145	23.5	96	21.9
近所づきあいがしやすいから	170	27.5	128	29.2
防犯や防災の面で安心だから	98	15.9	51	11.6
余暇や娯楽を楽しみやすいから	54	8.7	43	9.8
その他	22	3.6	26	5.9
無回答	0	0.0	4	0.9
回答者数	618	-	439	-



住みやすい理由は「自然環境」や「近所づきあいのしやすさ」など

南丹市は「住みやすい」または「どちらかというに住みやすい」と回答された方（439件）について、その理由は「自然環境に恵まれているから」が79.5%と最も多く、次いで「近所づきあいがしやすいから」が29.2%、「買い物など日常生活に便利だから」が21.9%、「医療や福祉サービスが充実しているから」が20.5%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「道路が整っているから」、「防犯や防災の面で安心だから」が減少しています。

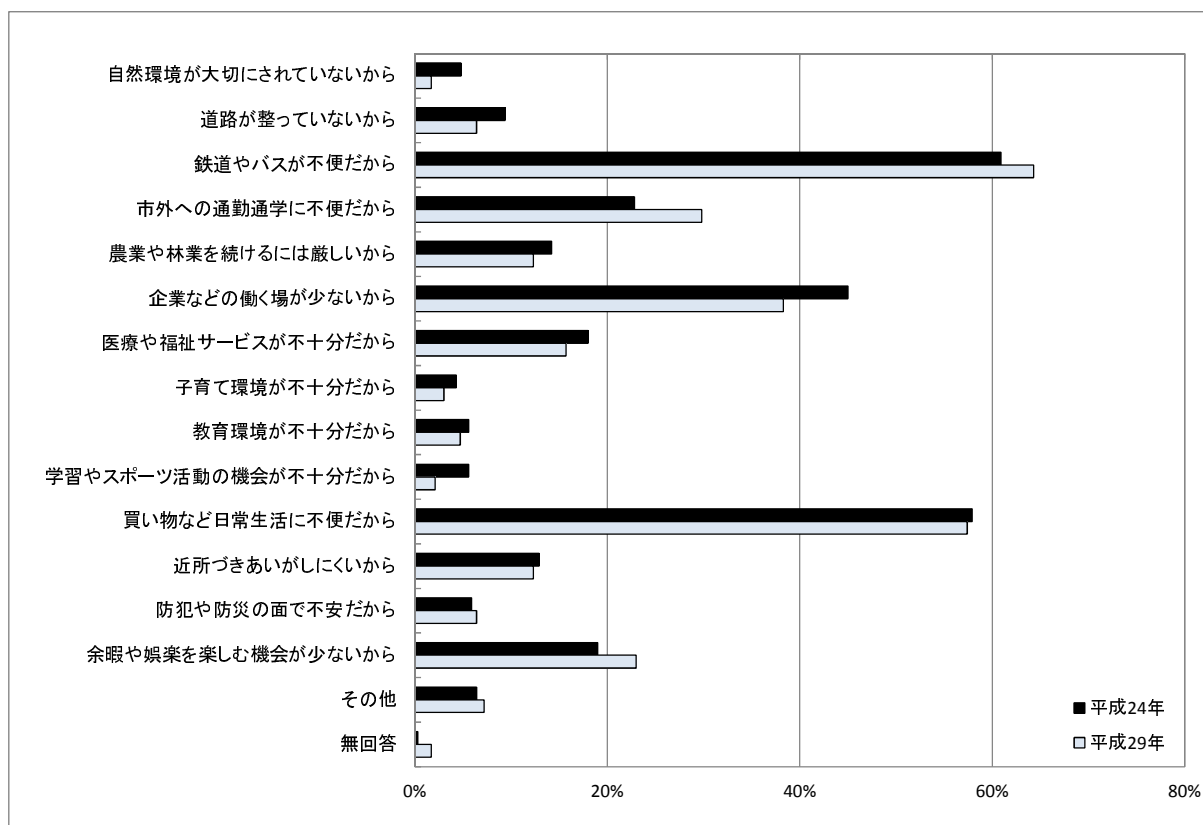
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

II アンケート調査結果

3

住みにくいと思う理由は何ですか。《3つまで選択》

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
自然環境が大切にされていないから	18	4.8	4	1.7
道路が整っていないから	35	9.4	15	6.4
鉄道やバスが不便だから	227	60.9	151	64.3
市外への通勤通学に不便だから	85	22.8	70	29.8
農業や林業を続けるには厳しいから	53	14.2	29	12.3
企業などの働く場が少ないから	168	45.0	90	38.3
医療や福祉サービスが不十分だから	67	18.0	37	15.7
子育て環境が不十分だから	16	4.3	7	3.0
教育環境が不十分だから	21	5.6	11	4.7
学習やスポーツ活動の機会が不十分だから	21	5.6	5	2.1
買い物など日常生活に不便だから	216	57.9	135	57.4
近所づきあいがしにくいから	48	12.9	29	12.3
防犯や防災の面で不安だから	22	5.9	15	6.4
余暇や娯楽を楽しむ機会が少ないから	71	19.0	54	23.0
その他	24	6.4	17	7.2
無回答	1	0.3	4	1.7
回答者数	373	-	235	-



住みにくい理由は「鉄道やバス」や「買い物など」の不便さ

南丹市は「どちらかというに住みにくい」または「住みにくい」と回答された方（235件）について、その理由は「鉄道やバスが不便だから」が64.3%と最も多く、次いで「買い物など日常生活に不便だから」が57.4%、「企業などの働く場が少ないから」が38.3%となっています。

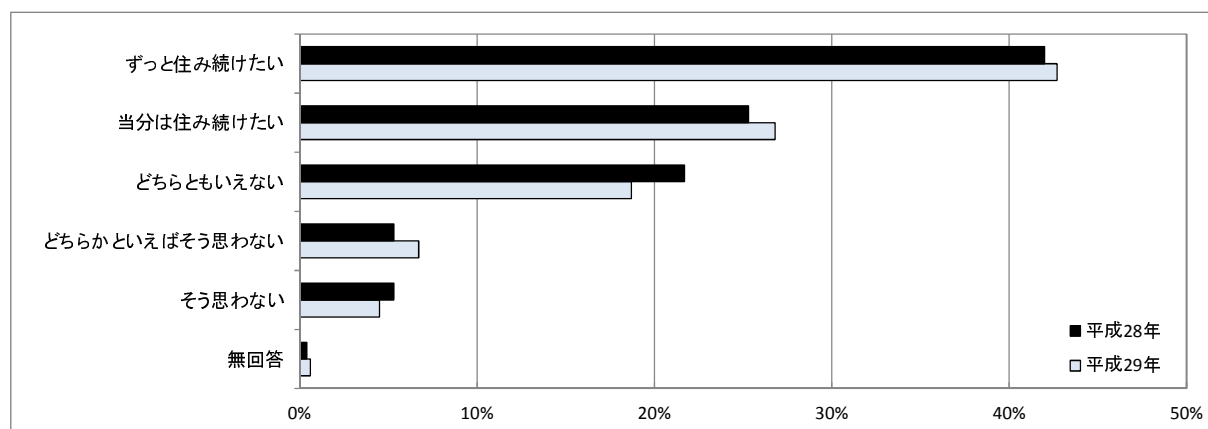
平成24年度調査と比較すると、「市外への通勤通学に不便だから」、「余暇や娯楽を楽しむ機会が少ないから」が増加しています。

地域別にみると、園部では「余暇や娯楽を楽しむ機会が少ないから」、八木では「近所づきあいがしにくいから」、日吉では「市外への通勤通学に不便だから」、美山では「医療や福祉サービスが不十分だから」がそれぞれ他の地域よりも多くなっています。

4

今後も南丹市に住み続けたいですか。

選 択 肢	平成28年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
ずっと住み続けたい	342	42.7	287	42.0
当分は住み続けたい	215	26.8	173	25.3
どちらともいえない	149	18.7	148	21.7
どちらかといえばそう思わない	54	6.7	36	5.3
そう思わない	36	4.5	36	5.3
無回答	5	0.6	3	0.4
合計	801	100.0	683	100.0



市民の3人に2人が南丹市に「住み続けたい」と回答

「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と回答された方は67.3%と、市民の3人に2人が南丹市に「住み続けたい」と回答されています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は10.6%と、市民の1割が「住み続けたくない」と回答されています。

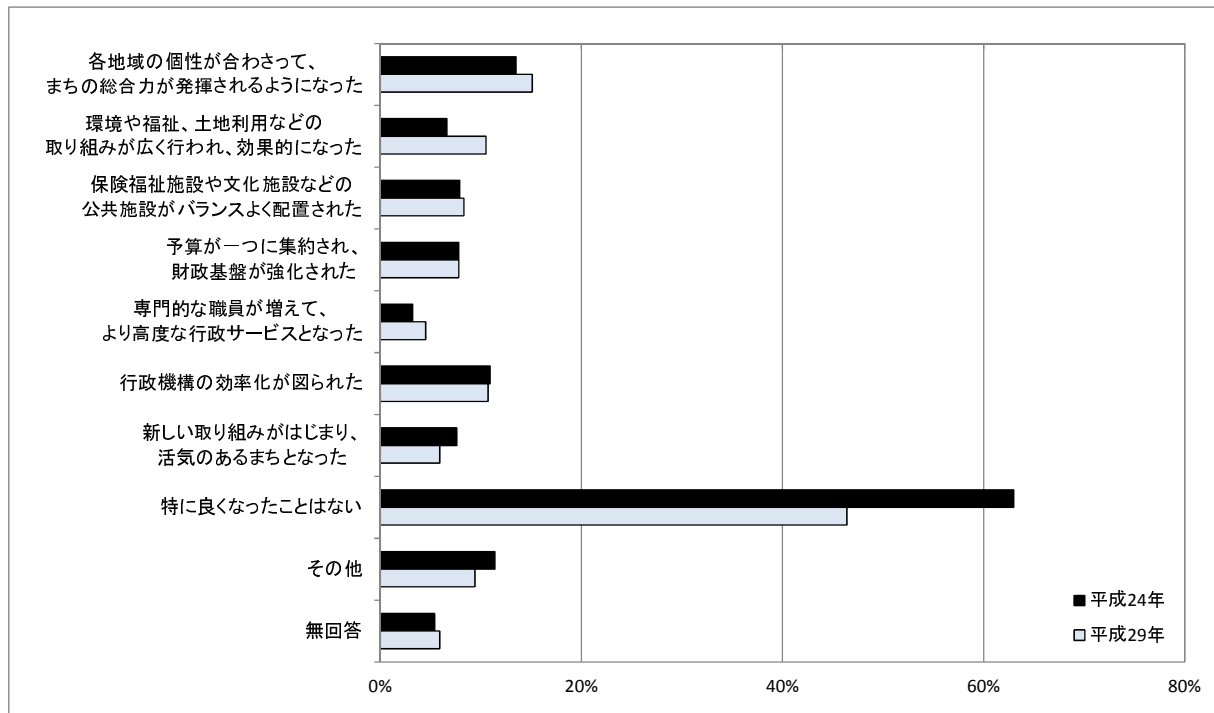
年齢別にみると、「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と回答された方は30歳代以上では約7割となっている一方、10歳代、20歳代では約4割と低くなっています。

II アンケート調査結果

5

合併から11年(平成24年度時点では、6年)が経過しましたが、合併によって良くなったと思えることは何ですか。《2つまで選択》

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
各地域の個性が合わさって、まちの総合力が発揮されるようになった	134	13.5	103	15.1
環境や福祉、土地利用などの取り組みが広く行われ、効果的になった	66	6.6	72	10.5
保険福祉施設や文化施設などの公共施設がバランスよく配置された	79	7.9	57	8.3
予算が一つに集約され、財政基盤が強化された	78	7.8	53	7.8
専門的な職員が増えて、より高度な行政サービスとなった	32	3.2	31	4.5
行政機構の効率化が図られた	109	10.9	73	10.7
新しい取り組みがはじまり、活気のあるまちとなった	76	7.6	40	5.9
特に良くなったことはない	627	63.0	317	46.4
その他	114	11.4	64	9.4
無回答	54	5.4	40	5.9
回答者数	996	-	683	-



市民の4割以上が合併で「特に良くなったことはない」と回答

「各地方の個性が合わさって、まちの総合力が発揮されるようになった」が15.1%、「行政機構の効率化が図られた」が10.7%、「環境や福祉、土地利用などの取り組みが広く行われ、効果的になった」が10.5%となっています。

しかし、「特に良くなったことはない」が46.4%と、平成24年度調査より16.6ポイント減少したものの、依然として最も多くなっています。

平成24年度調査と比較すると、「環境や福祉、土地利用などの取り組みが広く行われ、効果的になった」が増加しています。

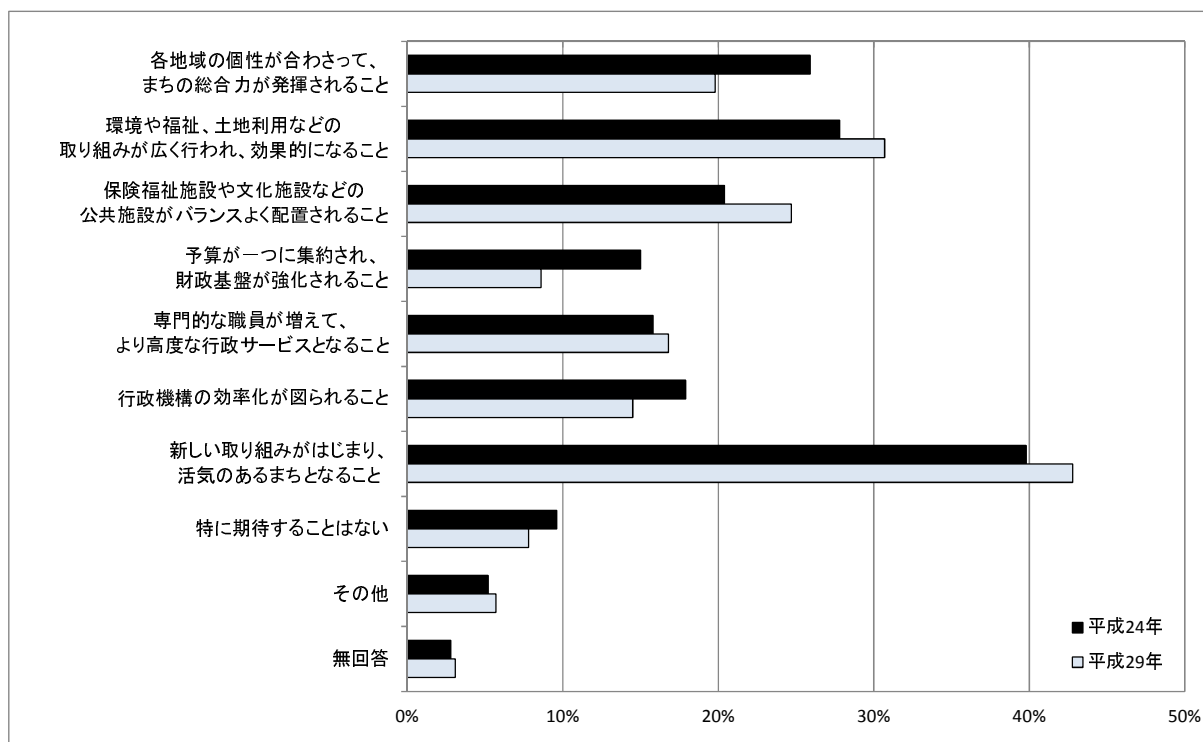
なお、地域別・居住年数別等による明確な差はみられません。

II アンケート調査結果

6

合併から11年(平成24年度時点では、6年)が経過しましたが、
今後期待することは何ですか。《2つまで選択》

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
各地域の個性が合わさって、まちの総合力が発揮されること	258	25.9	135	19.8
環境や福祉、土地利用などの取り組みが広く行われ、効果的になること	277	27.8	210	30.7
保険福祉施設や文化施設などの公共施設がバランスよく配置されること	203	20.4	169	24.7
予算が一つに集約され、財政基盤が強化されること	149	15.0	59	8.6
専門的な職員が増えて、より高度な行政サービスとなること	157	15.8	115	16.8
行政機構の効率化が図られること	178	17.9	99	14.5
新しい取り組みがはじまり、活気のあるまちとなること	396	39.8	292	42.8
特に期待することはない	96	9.6	53	7.8
その他	52	5.2	39	5.7
無回答	28	2.8	21	3.1
回答者数	996	-	683	-



合併 11 年を経て、「新しい取り組み」への期待が高まっている

「新しい取り組みがはじまり、活気のあるまちとなること」が 42.8%と最も多く、次いで「環境や福祉、土地利用などの取り組みが広く行われ、効果的になること」が 30.7%、「保険福祉施設や文化施設などの公共施設がバランスよく配置されること」が 24.7%となっています。

平成 24 年度調査と比較すると、「保険福祉施設や文化施設などの公共施設がバランスよく配置されること」が増加し、「予算が一つに集約され、財政基盤が強化されること」、「各地域の個性が合わさって、まちの総合力が発揮されること」が減少しています。

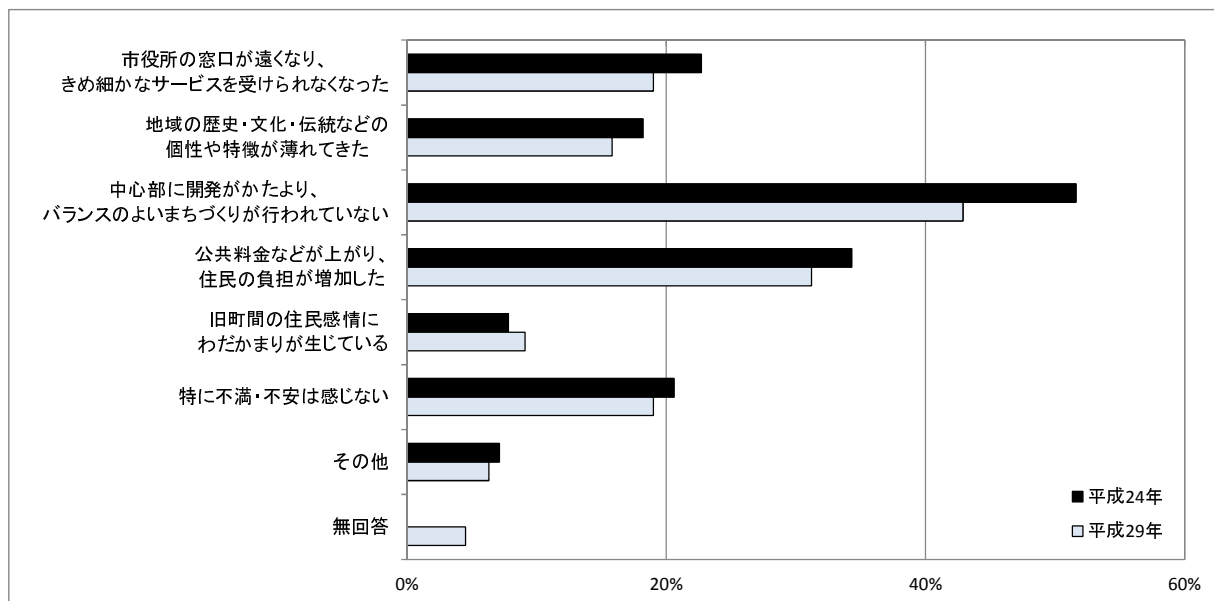
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

II アンケート調査結果

7

合併から11年(平成24年度時点では、6年)が経過しましたが、合併してからの不満や不安に思うことは何ですか。《2つまで選択》

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
市役所の窓口が遠くなり、きめ細かなサービスを受けられなくなった	226	22.7	130	19.0
地域の歴史・文化・伝統などの個性や特徴が薄れてきた	181	18.2	108	15.8
中心部に開発がかたより、バランスのよいまちづくりが行われていない	514	51.6	293	42.9
公共料金などが上がり、住民の負担が増加した	342	34.3	213	31.2
旧町間の住民感情にわだかまりが生じている	78	7.8	62	9.1
特に不満・不安は感じない	205	20.6	130	19.0
その他	71	7.1	43	6.3
無回答	0	0.0	31	4.5
回答者数	996	-	683	-



合併 11 年を経て、「バランスのよいまちづくり」への不満や不安が多い

「中心部に開発がかたより、バランスのよいまちづくりが行われていない」が42.9%と最も多く、次いで「公共料金などが上がり、住民の負担が増加した」が31.2%、「市役所の窓口が遠くなり、きめ細かなサービスを受けられなくなった」が19.0%となっています。

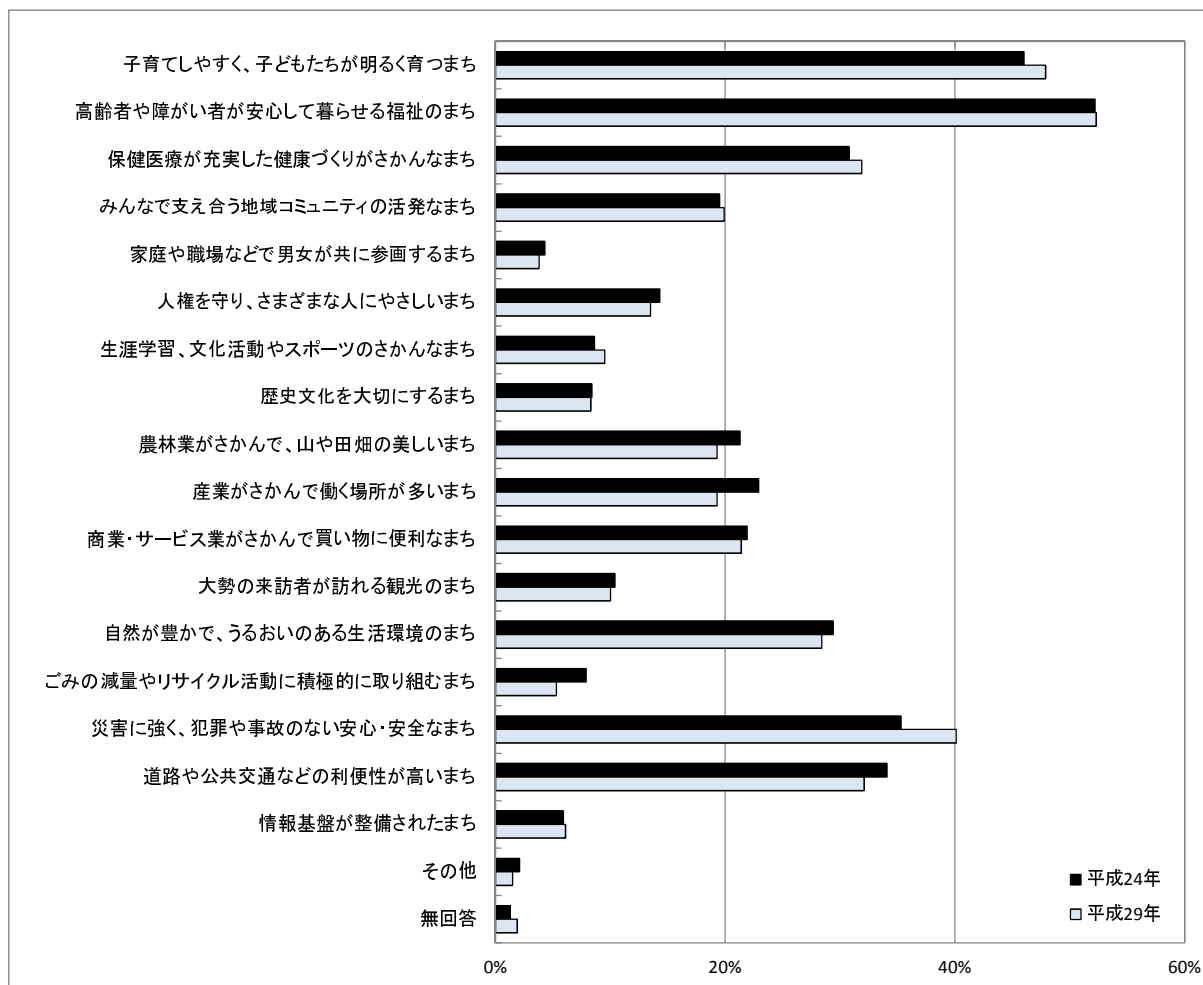
地域別にみると、園部では「地域の歴史・文化・伝統などの個性や特徴が薄れてきた」、美山では「市役所の窓口が遠くなり、きめ細かなサービスを受けられなくなった」が他の地域と比べて多くなっています。

II アンケート調査結果

8

将来の南丹市をどのようなまちにしたいですか。《4つまで選択》

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまち	458	46.0	327	47.9
高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち	520	52.2	357	52.3
保健医療が充実した健康づくりがさかんなまち	307	30.8	218	31.9
みんなで支え合う地域コミュニティの活発なまち	194	19.5	136	19.9
家庭や職場などで男女が共に参画するまち	43	4.3	26	3.8
人権を守り、さまざまな人にやさしいまち	142	14.3	92	13.5
生涯学習、文化活動やスポーツのさかんなまち	86	8.6	65	9.5
歴史文化を大切にするまち	84	8.4	57	8.3
農林業がさかんで、山や田畑の美しいまち	212	21.3	132	19.3
産業がさかんで働く場所が多いまち	228	22.9	132	19.3
商業・サービス業がさかんで買い物に便利なまち	218	21.9	146	21.4
大勢の来訪者が訪れる観光のまち	104	10.4	68	10.0
自然が豊かで、うるおいのある生活環境のまち	293	29.4	194	28.4
ごみの減量やリサイクル活動に積極的に取り組むまち	79	7.9	36	5.3
災害に強く、犯罪や事故のない安心・安全なまち	352	35.3	274	40.1
道路や公共交通などの利便性が高いまち	340	34.1	219	32.1
情報基盤が整備されたまち	59	5.9	42	6.1
その他	21	2.1	10	1.5
無回答	13	1.3	13	1.9
回答者数	996	-	683	-



「福祉」「子育て」「防災」のさらなる充実が求められている

「高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」が 52.3%と最も多く、次いで「子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまち」が 47.9%、「災害に強く、犯罪や事故のない安心・安全なまち」が 40.1%となっています。

年齢別にみると、20歳代、30歳代では「子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまち」、40歳代では「情報基盤が整備されたまち」が他の年代と比べて多くなっています。

地域別にみると、園部では「生涯学習、文化活動やスポーツのさかんなまち」、美山では「農林業がさかんで、山や田畑の美しいまち」が他の地域と比べて多くなっています。

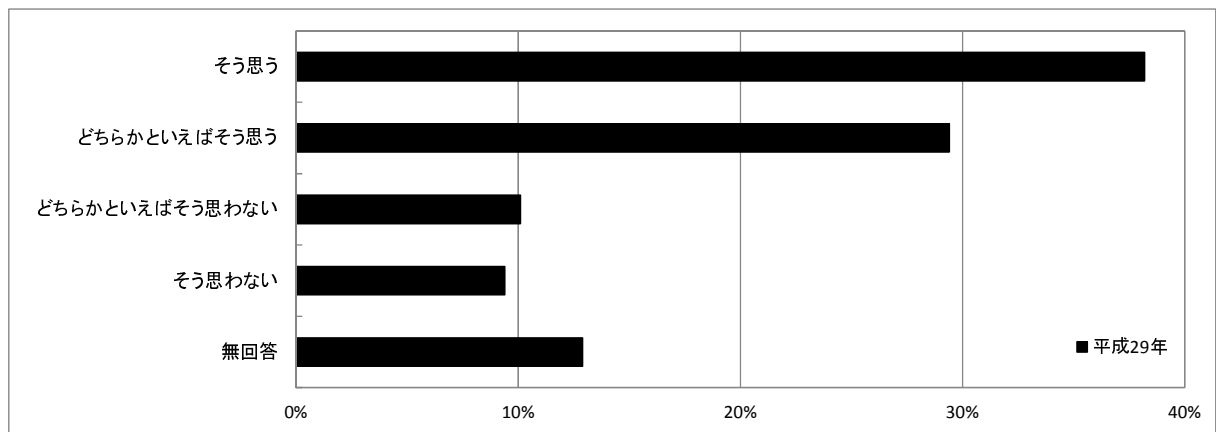
II アンケート調査結果

9

旧町それぞれが、その強みを活かしたまちづくりに取り組んだ方がいいと思いますか。

※平成29年度調査より追加された設問です。

選 択 肢	-		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	0	0.0	261	38.2
どちらかといえばそう思う	0	0.0	201	29.4
どちらかといえばそう思わない	0	0.0	69	10.1
そう思わない	0	0.0	64	9.4
無回答	0	0.0	88	12.9
合計	-	-	683	100.0



市民の3人に2人が「旧町ごとのまちづくりが必要だと思う」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は67.6%と、市民の3人に2人が「旧町ごとのまちづくりが必要だと思う」と回答されています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は19.5%と、市民の約2割が「旧町ごとのまちづくりが必要とは思わない」と回答されています。

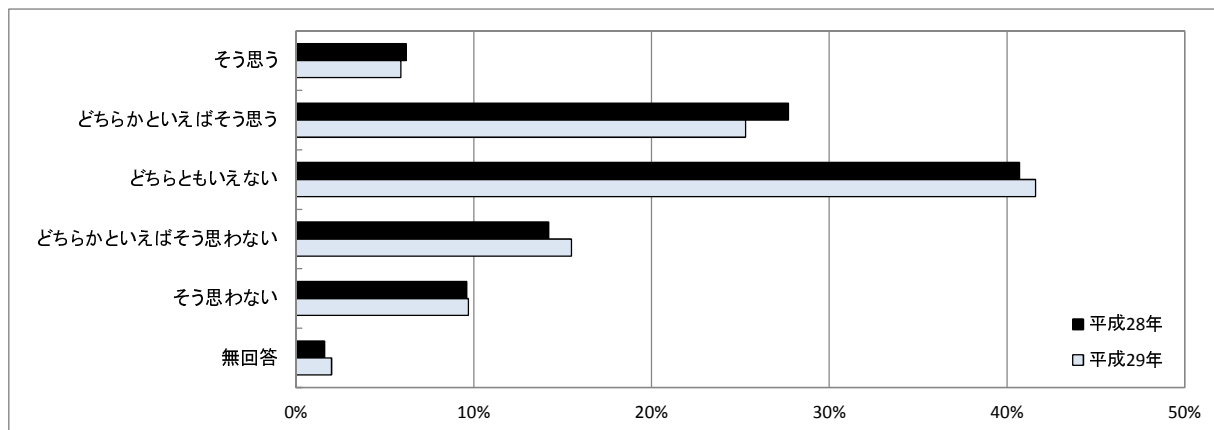
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

II アンケート調査結果

10

南丹市が住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思われますか。

選 択 肢	平成28年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	49	6.2	40	5.9
どちらかといえばそう思う	222	27.7	173	25.3
どちらともいえない	326	40.7	284	41.6
どちらかといえばそう思わない	114	14.2	106	15.5
そう思わない	77	9.6	66	9.7
無回答	13	1.6	14	2.0
合計	801	100.0	683	100.0



市民の3割が「南丹市は協働してまちづくりに取り組んでいる」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は31.2%と、市民の3割が「南丹市は協働してまちづくりに取り組んでいる」と回答されています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は25.2%と、4人に1人が「南丹市は協働してまちづくりに取り組んでいない」と回答されています。

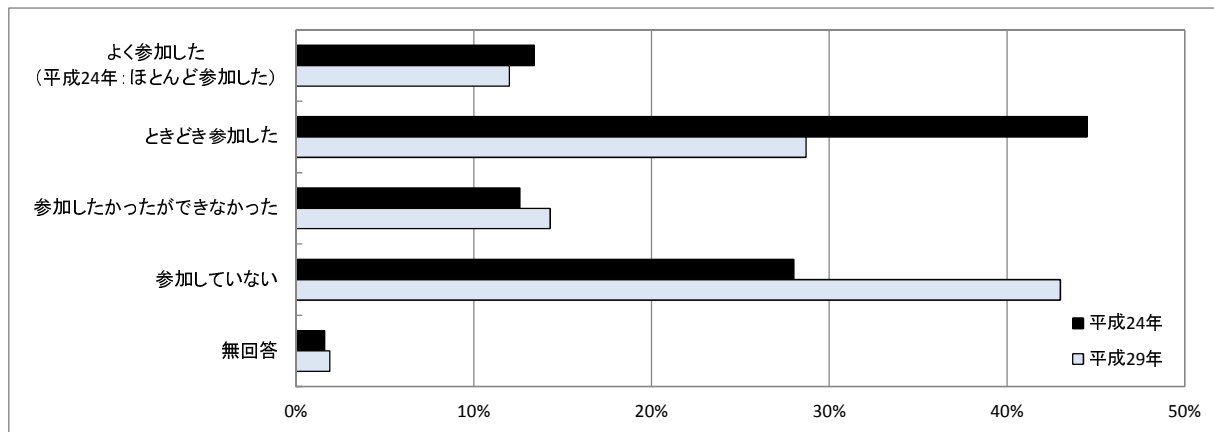
年齢別にみると、20歳代、60歳代では「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方が、70歳代では「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方が他の年代と比べて多くなっています。

アンケート調査結果

11-1

過去1年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
よく参加した(平成24年:ほとんど参加した)	133	13.4	82	12.0
ときどき参加した	443	44.5	196	28.7
参加したかったができなかった	125	12.6	98	14.3
参加していない	279	28.0	294	43.0
無回答	16	1.6	13	1.9
合計	996	100.0	683	100.0



地域活動に参加する市民は減少傾向にある

「よく参加した」または「ときどき参加した」と回答された方は40.7%と、平成24年度調査よりも17.2ポイント減少しています。

また、「参加していない」は43.0%と、平成24年度調査よりも15.0ポイント増加しており、地域活動に参加する市民は減少傾向にあると考えられます。

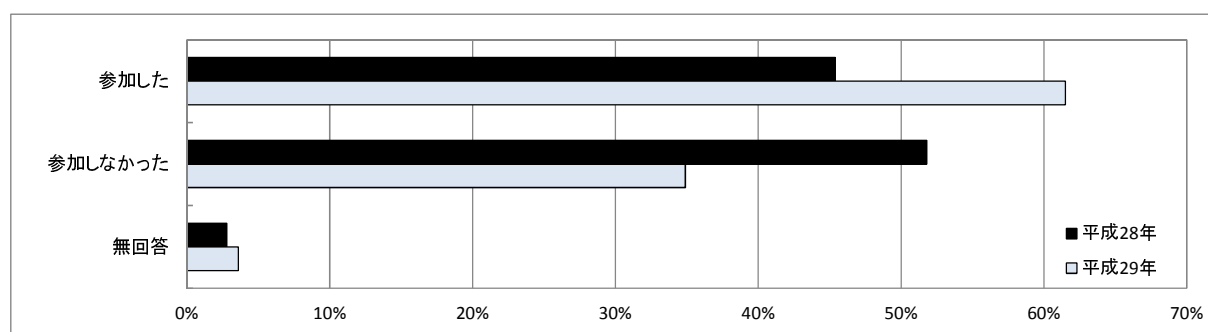
なお、「参加したかったができなかった」は14.3%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

年齢別にみると、10歳代から30歳代で「参加していない」が多くなっています。

II アンケート調査結果

11-2 活動の際、NPOやボランティア団体、地域団体などに参加されましたか。

選 択 肢	平成28年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
参加した	161	45.4	171	61.5
参加しなかった	184	51.8	97	34.9
無回答	10	2.8	10	3.6
合計	355	100.0	278	100.0



地域活動に参加された市民の6割以上が地域団体に参加

過去1年間で地域活動に参加された方(278名)について、活動の際にNPOやボランティア団体、地域団体などに「参加した」が61.5%、「参加しなかった」が34.9%となっています。

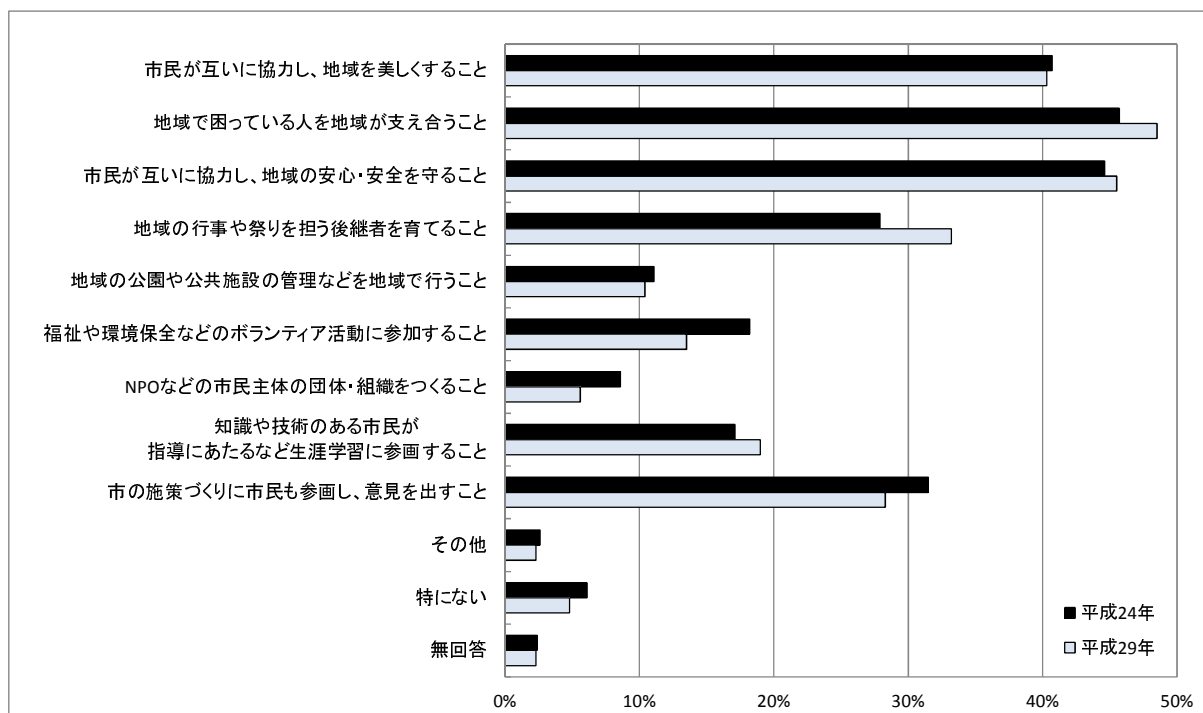
平成28年度調査と比較すると、「参加した」が16.1ポイント増加しています。

II アンケート調査結果

12

南丹市をもっと住みよいまちにするために、市民の皆さんができることはどのようなことだと思いますか。《3つまで選択》

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
市民が互いに協力し、地域を美しくすること	405	40.7	275	40.3
地域で困っている人を地域が支え合うこと	455	45.7	331	48.5
市民が互いに協力し、地域の安心・安全を守ること	444	44.6	311	45.5
地域の行事や祭りを担う後継者を育てること	278	27.9	227	33.2
地域の公園や公共施設の管理などを地域で行うこと	111	11.1	71	10.4
福祉や環境保全などのボランティア活動に参加すること	181	18.2	92	13.5
NPOなどの市民主体の団体・組織をつくること	86	8.6	38	5.6
知識や技術のある市民が指導にあたるなど生涯学習に参画すること	170	17.1	130	19.0
市の施策づくりに市民も参画し、意見を出すこと	314	31.5	193	28.3
その他	26	2.6	16	2.3
特になし	61	6.1	33	4.8
無回答	24	2.4	16	2.3
回答者数	996	-	683	-



南丹市をもっと住みよいまちにするためにできること

「地域で困っている人を地域が支え合うこと」が48.5%と最も多く、次いで「市民が互いに協力し、地域の安心・安全を守ること」が45.5%、「市民が互いに協力し、地域を美しくすること」が40.3%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「地域の行事や祭りを担う後継者を育てること」が増加しており、「福祉や環境保全などのボランティア活動に参加すること」、「市の施策づくりに市民も参画し、意見を出すこと」が減少しています。

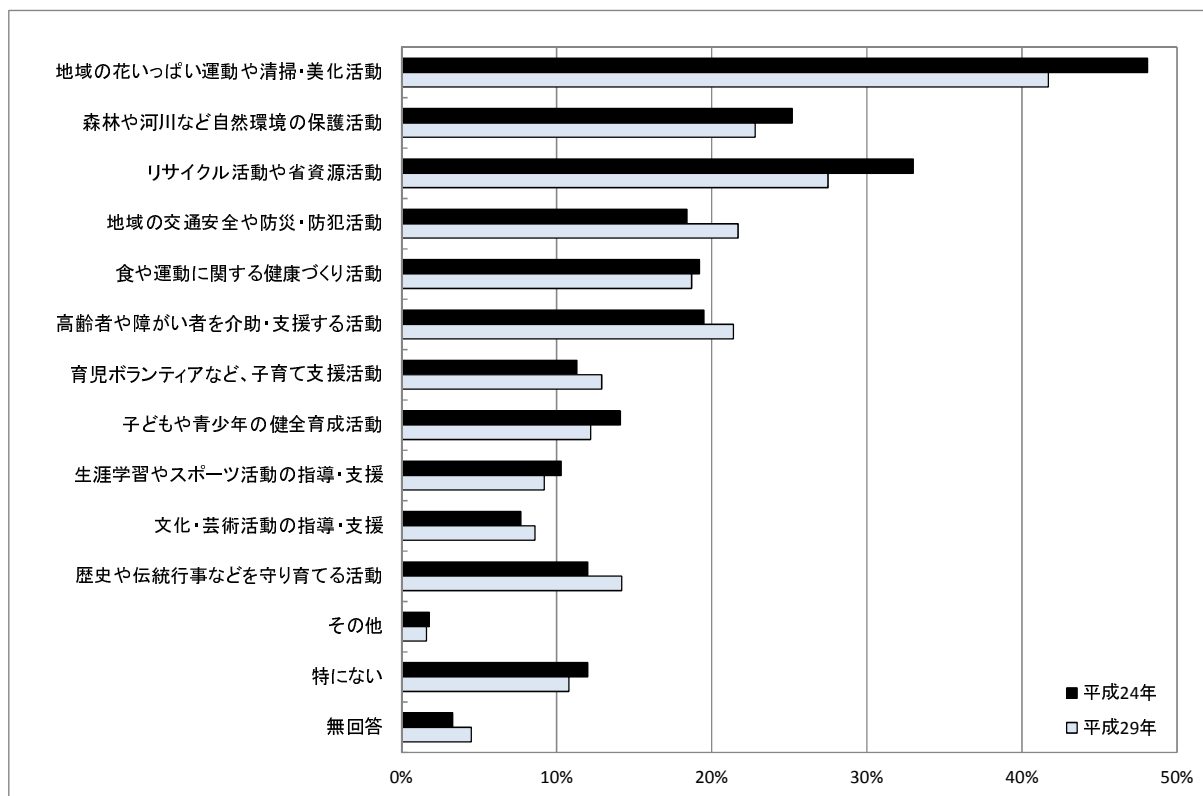
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

II アンケート調査結果

13

『地域のまちづくりに参加する』とすれば、どのようなことができると思いますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動	479	48.1	285	41.7
森林や河川など自然環境の保護活動	251	25.2	156	22.8
リサイクル活動や省資源活動	329	33.0	188	27.5
地域の交通安全や防災・防犯活動	183	18.4	148	21.7
食や運動に関する健康づくり活動	191	19.2	128	18.7
高齢者や障がい者を介助・支援する活動	194	19.5	146	21.4
育児ボランティアなど、子育て支援活動	113	11.3	88	12.9
子どもや青少年の健全育成活動	140	14.1	83	12.2
生涯学習やスポーツ活動の指導・支援	103	10.3	63	9.2
文化・芸術活動の指導・支援	77	7.7	59	8.6
歴史や伝統行事などを守り育てる活動	120	12.0	97	14.2
その他	18	1.8	11	1.6
特にない	120	12.0	74	10.8
無回答	33	3.3	31	4.5
回答者数	996	-	683	-



「地域のまちづくりに参加」してできること

「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」が41.7%と最も多く、次いで「リサイクル活動や省資源活動」が27.5%、「森林や河川など自然環境の保護活動」が22.8%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「地域の交通安全や防災・防犯活動」が増加しており、「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」、「リサイクル活動や省資源活動」が減少しています。

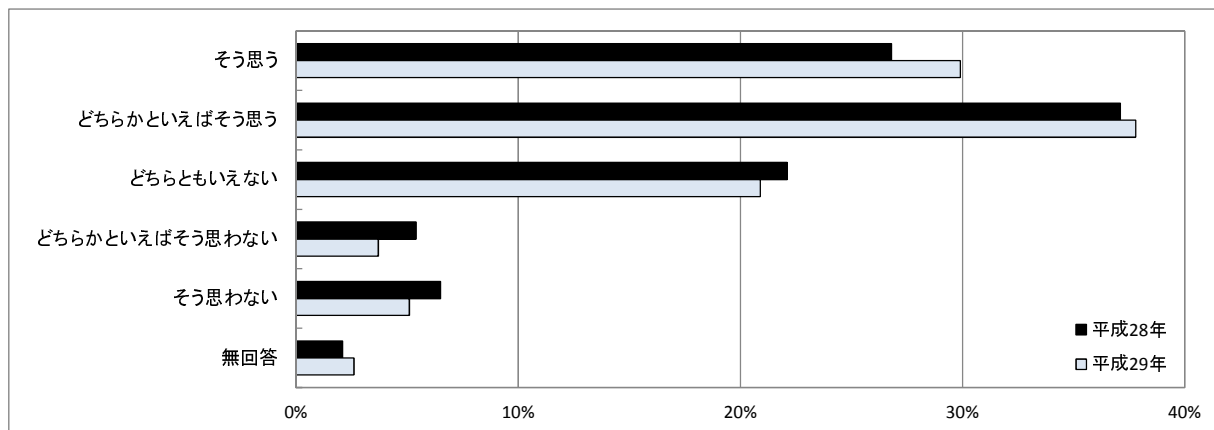
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

II アンケート調査結果

14

地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、ご自分たちが引き継いでいかなければならないと思われますか。

選 択 肢	平成28年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	215	26.8	204	29.9
どちらかといえばそう思う	297	37.1	258	37.8
どちらともいえない	177	22.1	143	20.9
どちらかといえばそう思わない	43	5.4	25	3.7
そう思わない	52	6.5	35	5.1
無回答	17	2.1	18	2.6
合計	801	100.0	683	100.0



市民の3人に2人が伝統や文化を引き継ぐ気持ちを持っている

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は67.7%と、平成28年度調査より3.8ポイント増加しており、市民の3人に2人が伝統や文化を引き継ぐ気持ちを持っていると考えられます。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は8.8%と、平成28年度調査より3.1ポイント減少しています。

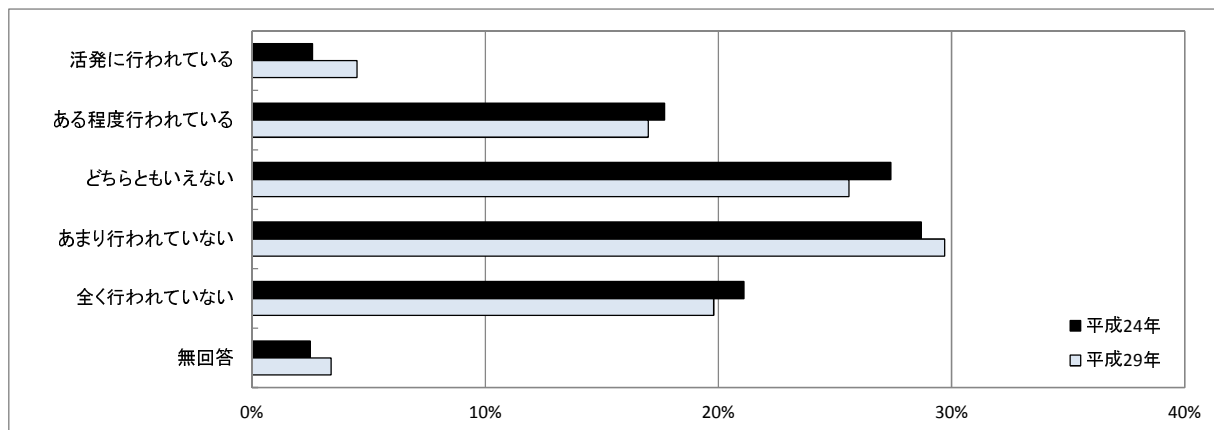
年齢別にみると、20歳代、30歳代では「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方が1割以上と、他の年代と比べて多くなっています。

II アンケート調査結果

15

ご自分の住んでいる地域において、さまざまな分野における、大学などの交流・連携が活発に行われていると思われませんか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
活発に行われている	26	2.6	31	4.5
ある程度行われている	176	17.7	116	17.0
どちらともいえない	273	27.4	175	25.6
あまり行われていない	286	28.7	203	29.7
全く行われていない	210	21.1	135	19.8
無回答	25	2.5	23	3.4
合計	996	100.0	683	100.0



美山以外の地域では「交流・連携が行われていない」が半数以上

「活発に行われている」または「ある程度行われている」と回答された方は21.5%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

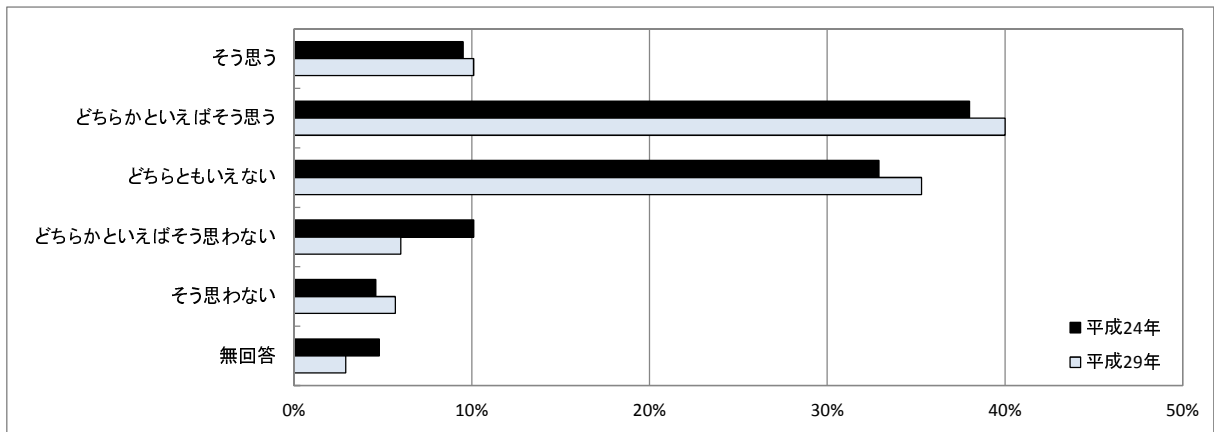
一方、「あまり行われていない」または「全く行われていない」と回答された方は49.5%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

地域別にみると、美山では「活発に行われている」または「ある程度行われている」と回答された方が5割以上となっている一方、園部・八木・日吉では「あまり行われていない」または「全く行われていない」と回答された方がそれぞれ5割以上となっています。

16

南丹市は安心して子育てのできるまちだと思いますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	95	9.5	69	10.1
どちらかといえばそう思う	378	38.0	273	40.0
どちらともいえない	328	32.9	241	35.3
どちらかといえばそう思わない	101	10.1	41	6.0
そう思わない	46	4.6	39	5.7
無回答	48	4.8	20	2.9
合計	996	100.0	683	100.0



市民の半数が南丹市は「安心して子育てできるまち」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は50.1%と、平成24年度調査より2.6ポイント増加しています。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は11.7%と、平成24年度調査より3.0ポイント減少しています。

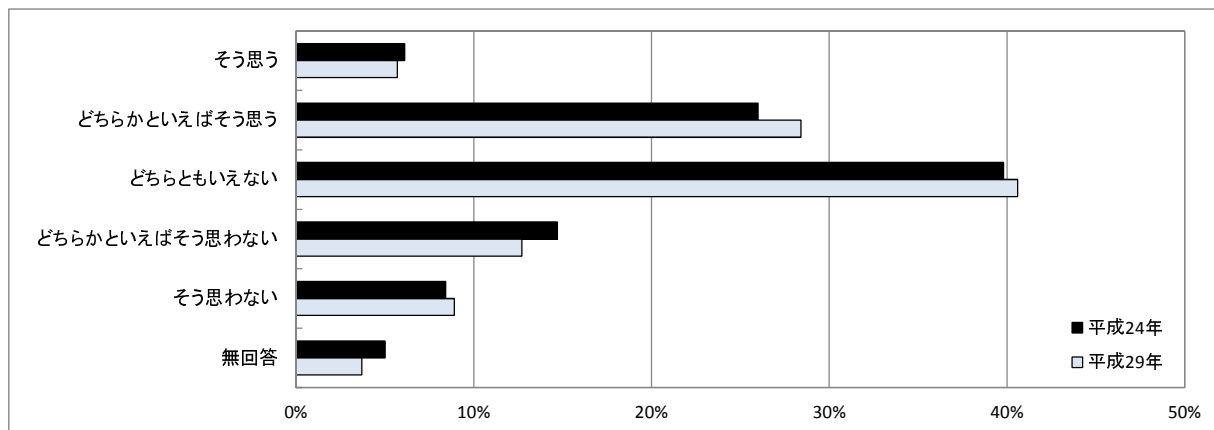
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

II アンケート調査結果

17

自分の住んでいる地域において、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりができていると思われませんか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	61	6.1	39	5.7
どちらかといえばそう思う	259	26.0	194	28.4
どちらともいえない	396	39.8	277	40.6
どちらかといえばそう思わない	146	14.7	87	12.7
そう思わない	84	8.4	61	8.9
無回答	50	5.0	25	3.7
合計	996	100.0	683	100.0



3人に1人が「地域で子育てを支援する仕組みができている」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は34.1%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は21.6%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

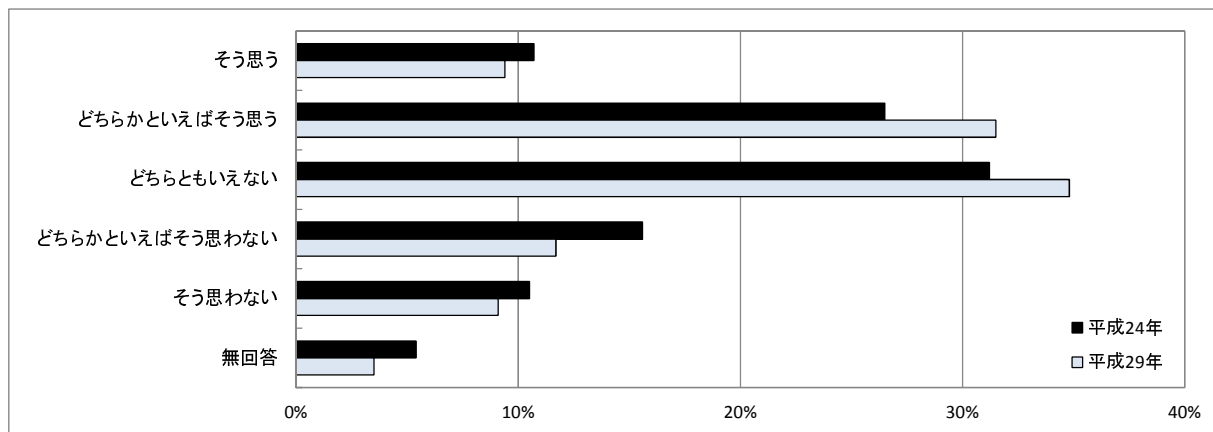
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

II アンケート調査結果

18

南丹市の子どもたちが、児童数や生徒数、施設の状況も踏まえ、適切な教育環境で学んでいると思われますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	107	10.7	64	9.4
どちらかといえばそう思う	264	26.5	215	31.5
どちらともいえない	311	31.2	238	34.8
どちらかといえばそう思わない	155	15.6	80	11.7
そう思わない	105	10.5	62	9.1
無回答	54	5.4	24	3.5
合計	996	100.0	683	100.0



市民の4割が「子どもたちは適切な教育環境で学んでいる」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は40.9%と、平成24年度調査より3.7ポイント増加しています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は20.8%と、平成24年度調査より5.3ポイント減少しています。

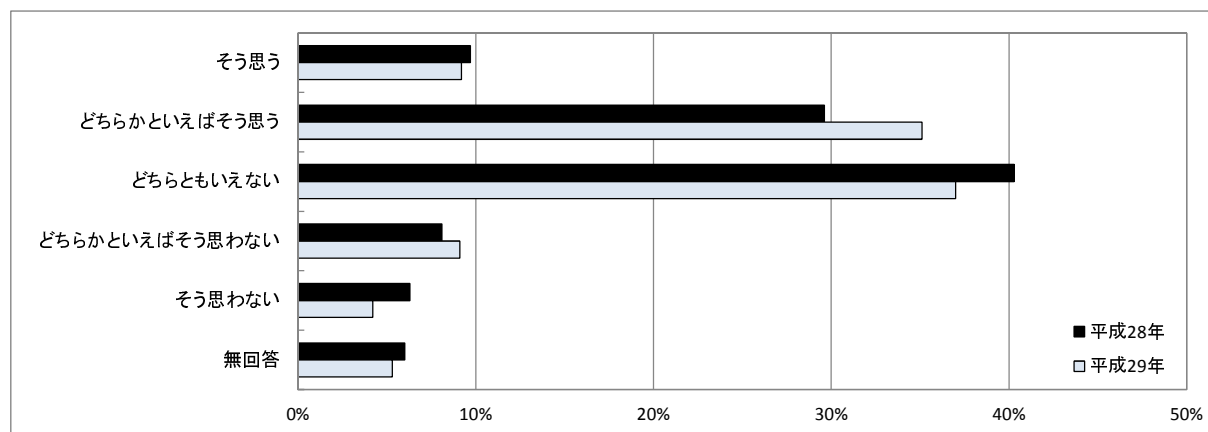
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

II アンケート調査結果

19

南丹市の保育所や幼稚園などで行われている乳幼児への保育・教育が、充実していると思われますか

選 択 肢	平成28年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	78	9.7	63	9.2
どちらかといえばそう思う	237	29.6	240	35.1
どちらともいえない	323	40.3	253	37.0
どちらかといえばそう思わない	65	8.1	62	9.1
そう思わない	50	6.3	29	4.2
無回答	48	6.0	36	5.3
合計	801	100.0	683	100.0



市民の4割以上が「乳幼児への保育・教育が充実している」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は44.3%と、平成28年度調査より5.0ポイント増加しており、市民の4割以上が「乳幼児への保育・教育が充実している」と回答しています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は13.3%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

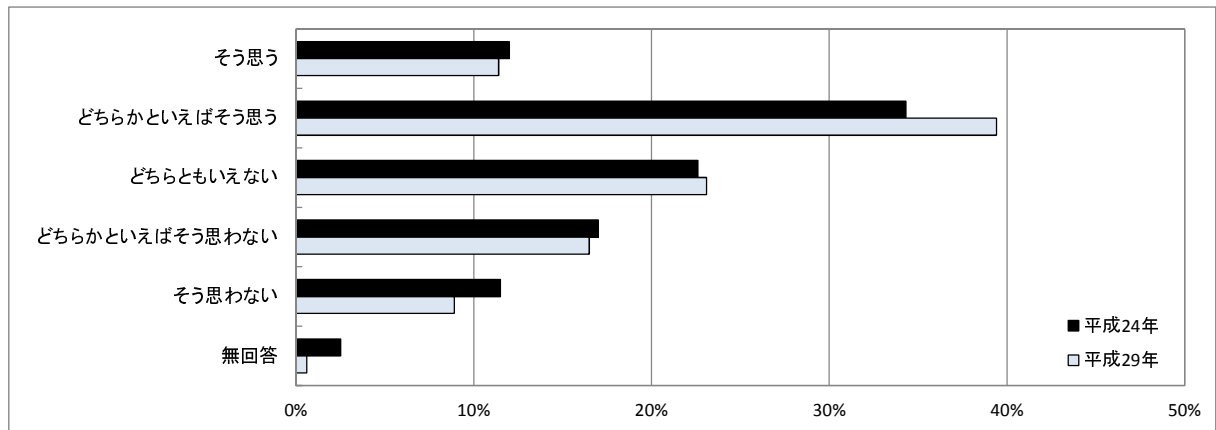
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

II アンケート調査結果

20

南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	120	12.0	78	11.4
どちらかといえばそう思う	342	34.3	269	39.4
どちらともいえない	225	22.6	158	23.1
どちらかといえばそう思わない	169	17.0	113	16.5
そう思わない	115	11.5	61	8.9
無回答	25	2.5	4	0.6
合計	996	100.0	683	100.0



美山では「医療体制は整っていない」との回答が半数

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は50.8%と、平成24年度調査より4.5ポイント増加しています。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は25.4%と、平成24年度調査より3.1ポイント減少しています。

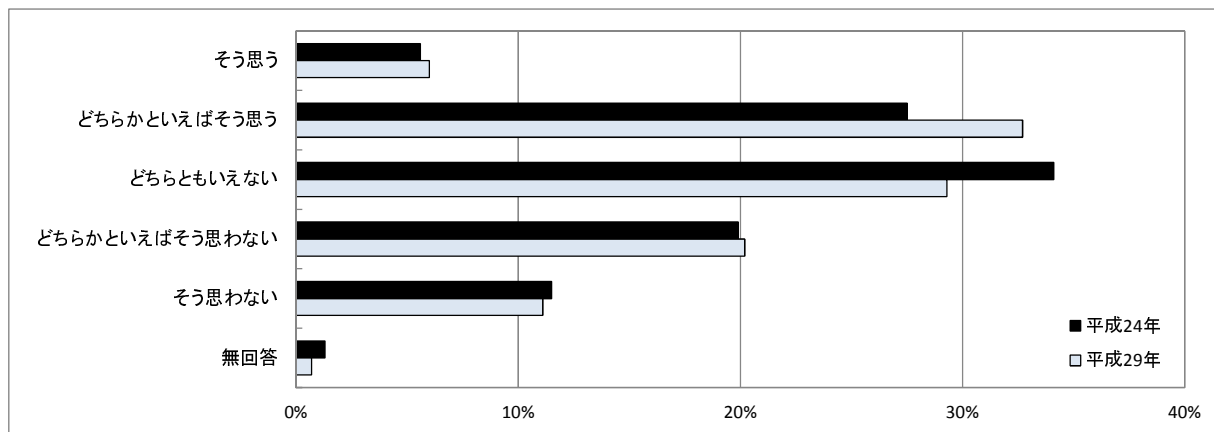
地域別にみると、美山では「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は50.8%と、他の地域と比べて多くなっています。

II アンケート調査結果

21

南丹市は高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	56	5.6	41	6.0
どちらかといえばそう思う	274	27.5	223	32.7
どちらともいえない	340	34.1	200	29.3
どちらかといえばそう思わない	198	19.9	138	20.2
そう思わない	115	11.5	76	11.1
無回答	13	1.3	5	0.7
合計	996	100.0	683	100.0



美山では「高齢者にとって、安心して暮らせないまち」が4割以上

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は 38.7%と、平成 24 年度調査より 5.6 ポイント増加しています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は 31.3%と、平成 24 年度調査と同様の結果となっています。

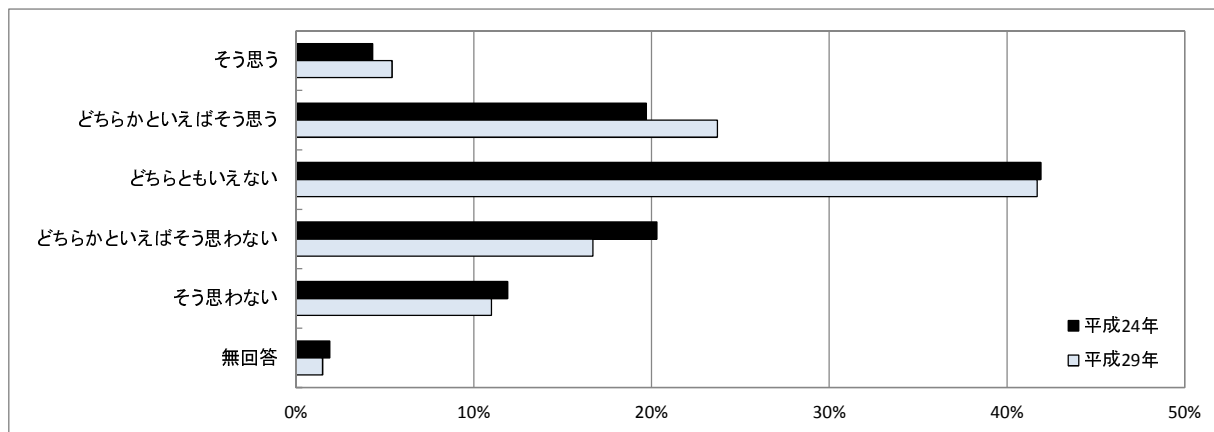
地域別にみると、美山では「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は 47.5%と、他の地域と比べて多くなっています。

アンケート調査結果

22

南丹市は障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思いますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	43	4.3	37	5.4
どちらかといえばそう思う	196	19.7	162	23.7
どちらともいえない	417	41.9	285	41.7
どちらかといえばそう思わない	202	20.3	114	16.7
そう思わない	119	11.9	75	11.0
無回答	19	1.9	10	1.5
合計	996	100.0	683	100.0



美山では「障がい者にとって、安心して暮らせないまち」が4割以上

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は29.1%と、平成24年度調査より5.1ポイント増加しています。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は27.7%と、平成24年度調査より4.5ポイント減少しています。

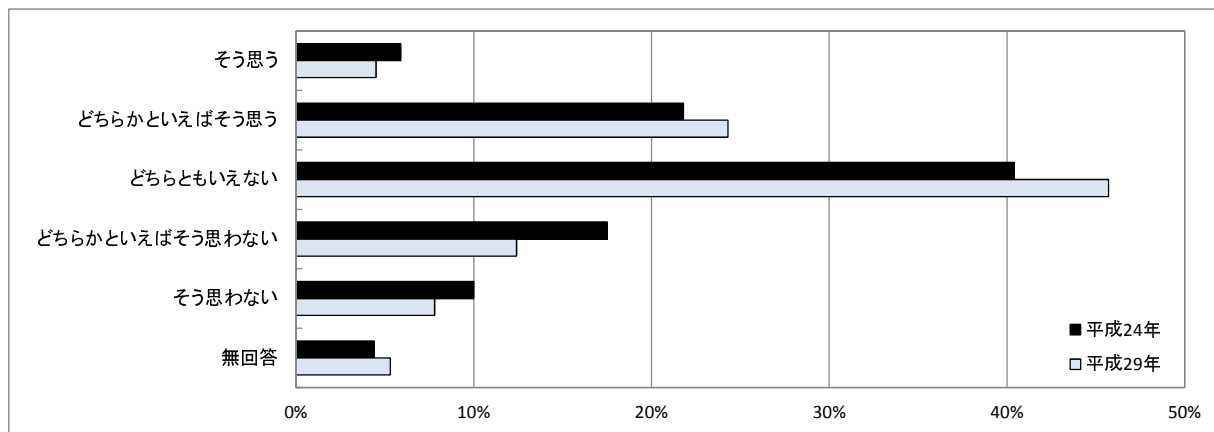
地域別にみると、美山では「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は46.6%と、他の地域と比べて多くなっています。

II アンケート調査結果

23

南丹市は妊婦の方にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	59	5.9	31	4.5
どちらかといえばそう思う	217	21.8	166	24.3
どちらともいえない	402	40.4	312	45.7
どちらかといえばそう思わない	174	17.5	85	12.4
そう思わない	100	10.0	53	7.8
無回答	44	4.4	36	5.3
合計	996	100.0	683	100.0



美山では「妊婦にとって、安心して暮らせないまち」との回答が4割以上

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は28.8%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は20.2%と、平成24年度調査より7.3ポイント減少しています。

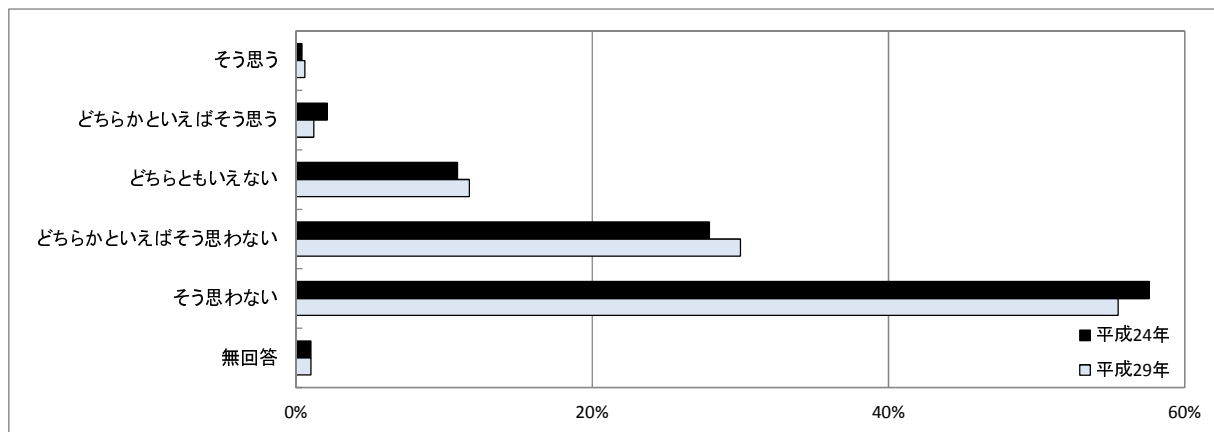
地域別にみると、美山では「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は48.1%と、他の地域と比べて多くなっています。

アンケート調査結果

24

南丹市の商店街(商業)がにぎわっていると思えますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	4	0.4	4	0.6
どちらかといえばそう思う	21	2.1	8	1.2
どちらともいえない	109	10.9	80	11.7
どちらかといえばそう思わない	278	27.9	205	30.0
そう思わない	574	57.6	379	55.5
無回答	10	1.0	7	1.0
合計	996	100.0	683	100.0



市民の8割以上が「商店街(商業)はにぎわっていない」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は1.8%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

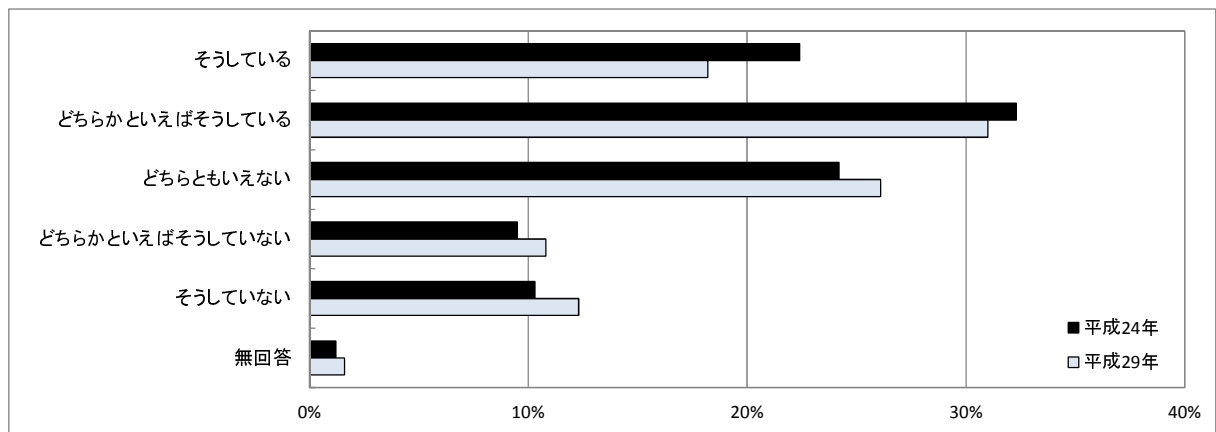
また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は85.5%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

25

南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そうしている	223	22.4	124	18.2
どちらかといえばそうしている	322	32.3	212	31.0
どちらともいえない	241	24.2	178	26.1
どちらかといえばそうしていない	95	9.5	74	10.8
そうしていない	103	10.3	84	12.3
無回答	12	1.2	11	1.6
合計	996	100.0	683	100.0



市民の半数が地元産品を意識して購入

「そうしている」または「どちらかといえばそうしている」と回答された方は49.2%と、平成24年度調査より5.5ポイント減少しています。

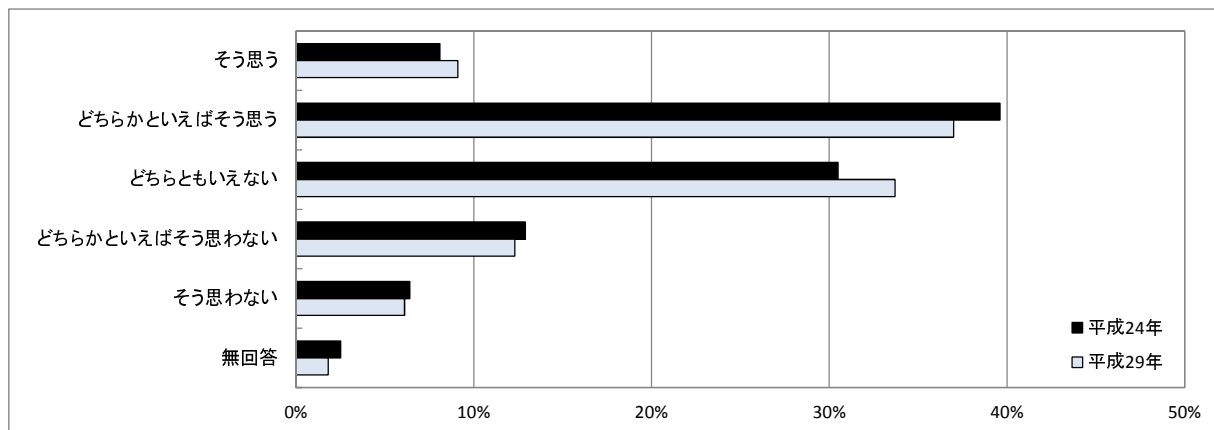
また、「どちらかといえばそうしていない」または「そうしていない」と回答された方は23.1%と、平成24年度調査より3.3ポイント増加しています。

年齢別にみると、40歳代以上では「そうしている」または「どちらかといえばそうしている」が5割以上となっている一方、10歳代から30歳代では「どちらともいえない」が約3割となっています。

26

南丹市において、自然環境が適切に守られていると思われますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	81	8.1	62	9.1
どちらかといえばそう思う	394	39.6	253	37.0
どちらともいえない	304	30.5	230	33.7
どちらかといえばそう思わない	128	12.9	84	12.3
そう思わない	64	6.4	42	6.1
無回答	25	2.5	12	1.8
合計	996	100.0	683	100.0



市民の4割以上が「自然環境は守られている」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は46.1%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は18.4%と、平成24年度調査と同様の結果となっています

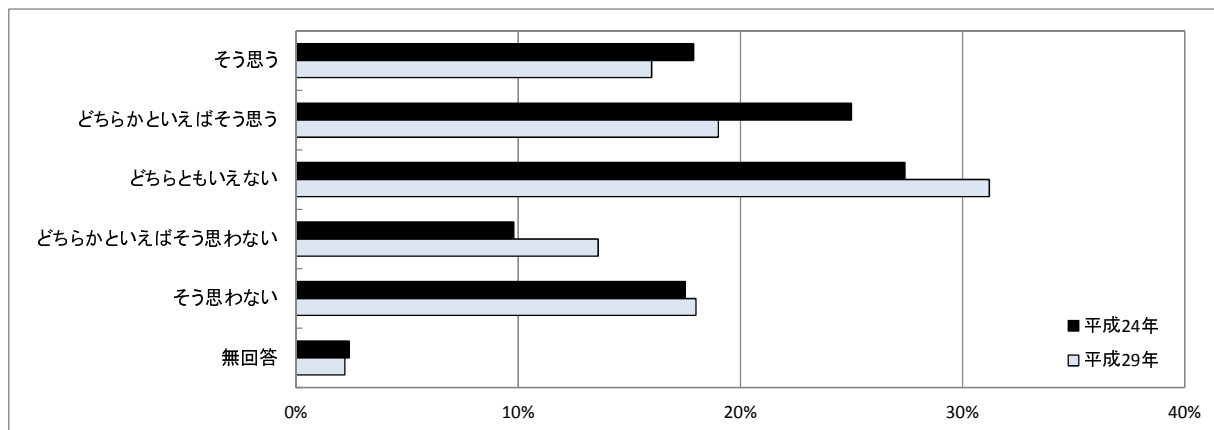
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

II アンケート調査結果

27

南丹市において、美しい風景や町並みを守るため、個人などが新築、増改築する建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと思いますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	178	17.9	109	16.0
どちらかといえばそう思う	249	25.0	130	19.0
どちらともいえない	273	27.4	213	31.2
どちらかといえばそう思わない	98	9.8	93	13.6
そう思わない	174	17.5	123	18.0
無回答	24	2.4	15	2.2
合計	996	100.0	683	100.0



市民の3人に1人が「建築物などに規制を設けるべき」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は35.0%と、平成24年度調査より7.9ポイント減少しています。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は31.6%と、平成24年度調査より4.3ポイント増加しています。

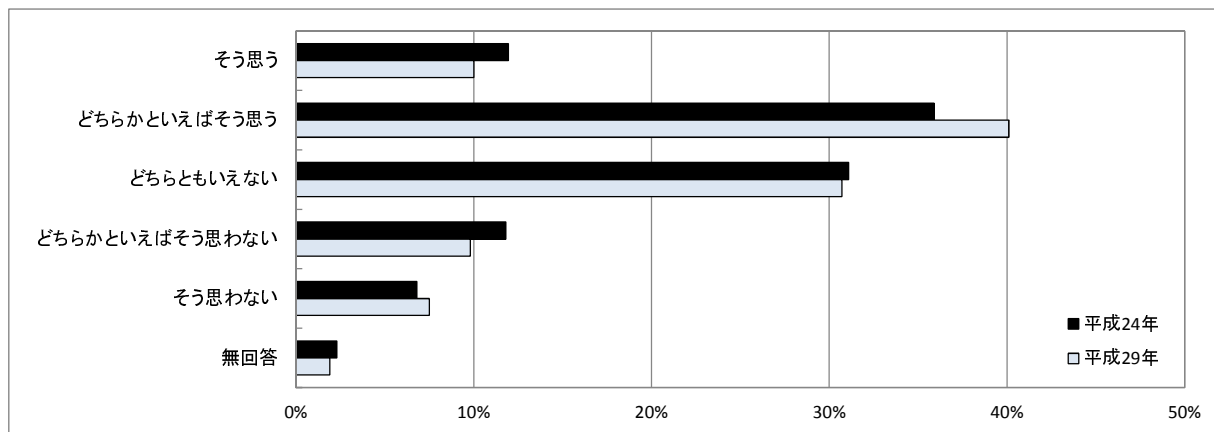
地域別にみると、八木・日吉では「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」が3割以上となっている一方、美山では「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」が約5割となっています。なお、園部では「どちらでもない」が多くなっています。

アンケート調査結果

28

南丹市が発行する広報誌やホームページ、CATVなどを通じて、市政についての情報が的確に得られていると感じられますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	119	11.9	68	10.0
どちらかといえばそう思う	358	35.9	274	40.1
どちらともいえない	310	31.1	210	30.7
どちらかといえばそう思わない	118	11.8	67	9.8
そう思わない	68	6.8	51	7.5
無回答	23	2.3	13	1.9
合計	996	100.0	683	100.0



市民の半数が「市の情報が得られている」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は50.1%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は17.3%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

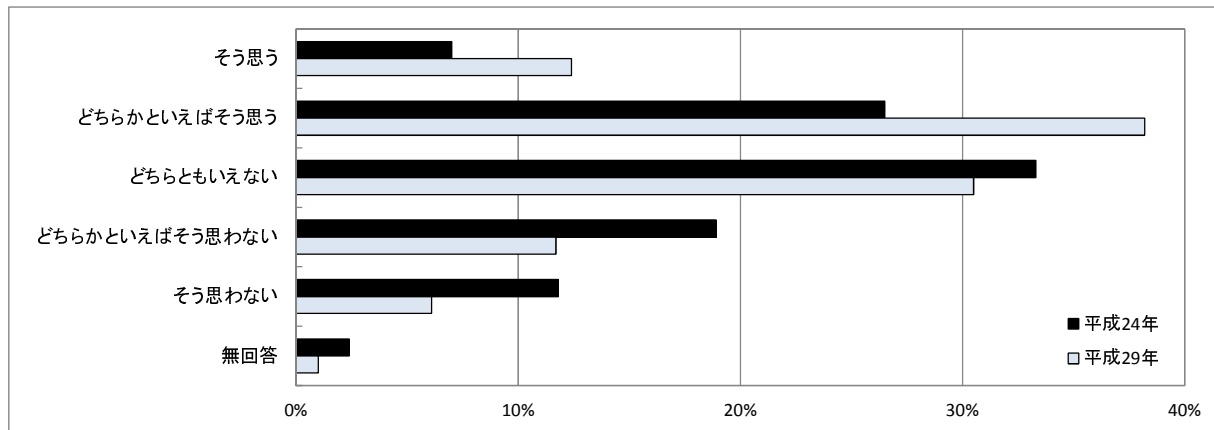
年齢別にみると、10歳代、20歳代では「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方が約3割と、他の年代と比べて多くなっています。

II アンケート調査結果

29

災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されていると思われるか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	70	7.0	85	12.4
どちらかといえばそう思う	264	26.5	261	38.2
どちらともいえない	332	33.3	208	30.5
どちらかといえばそう思わない	188	18.9	80	11.7
そう思わない	118	11.8	42	6.1
無回答	24	2.4	7	1.0
合計	996	100.0	683	100.0



市民の半数が「災害情報の発信体制は整っている」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は50.6%と、平成24年度調査より17.1ポイント増加しています。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は17.8%と、平成24年度調査より12.9ポイント減少しています。

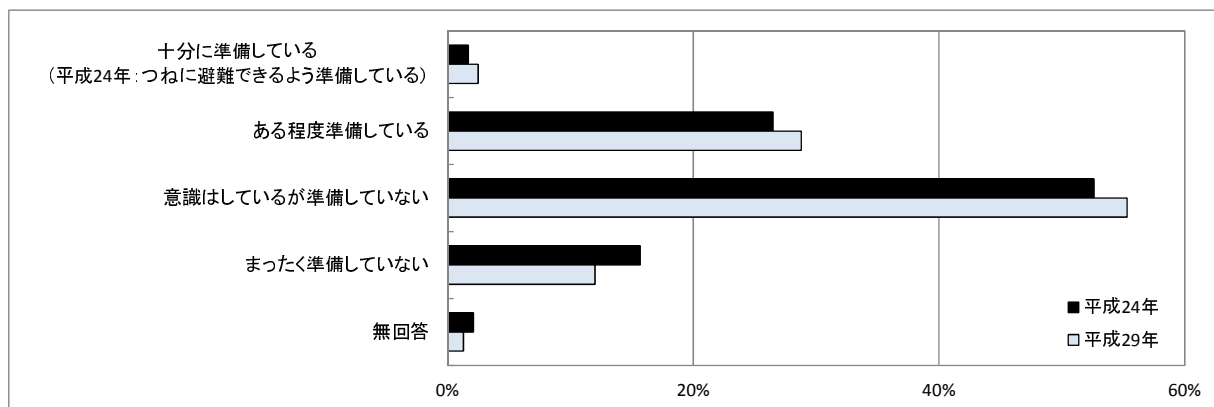
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

アンケート調査結果

30

台風や地震などの災害に備えて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
十分に準備している(平成24年:つねに避難できるよう準備している)	31	1.7	17	2.5
ある程度準備している	264	26.5	197	28.8
意識はしているが準備していない	524	52.6	378	55.3
まったく準備していない	156	15.7	82	12.0
無回答	21	2.1	9	1.3
合計	996	100.0	683	100.0



市民の3人に2人が「避難の準備をしていない」と回答

「十分に準備している」または「ある程度準備している」と回答された方は31.3%と、平成24年度調査より3.1ポイント増加しています。

また、「意識はしているが準備していない」または「まったく準備していない」と回答された方は67.3%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

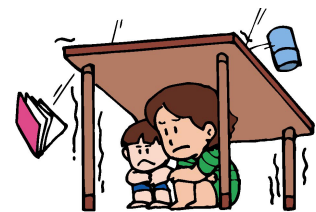
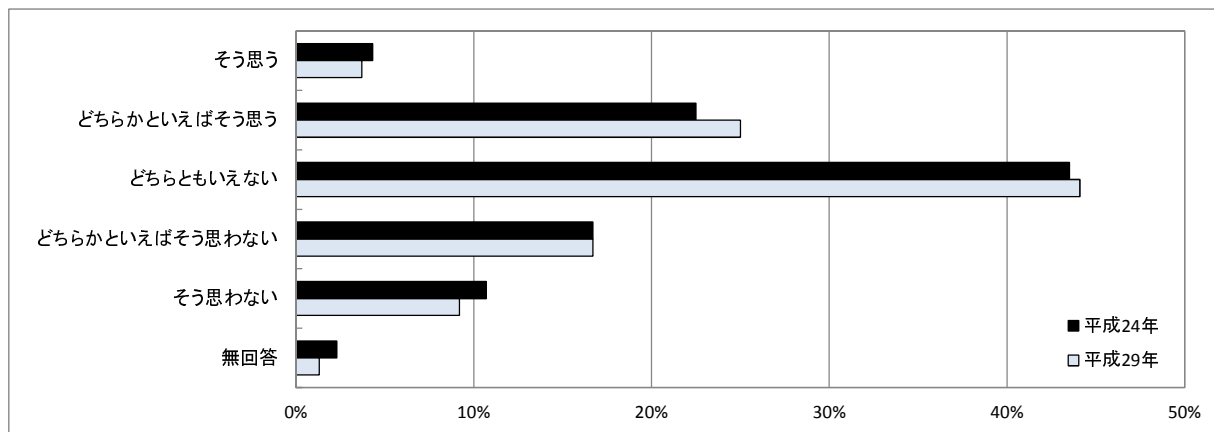
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

アンケート調査結果

31

南丹市が防災の面で、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	43	4.3	25	3.7
どちらかといえばそう思う	224	22.5	171	25.0
どちらともいえない	433	43.5	301	44.1
どちらかといえばそう思わない	166	16.7	114	16.7
そう思わない	107	10.7	63	9.2
無回答	23	2.3	9	1.3
合計	996	100.0	683	100.0



市民の約3割が「防災の面で、安心して暮らせるまちである」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は28.7%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は25.9%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

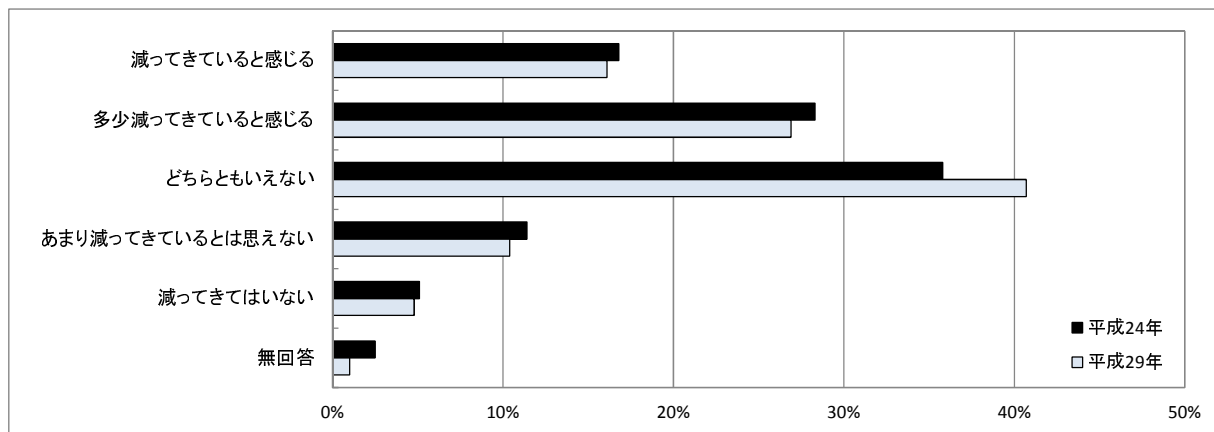
なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

アンケート調査結果

32

まだまだ性別や国籍、身体的障がいなどによる差別が残っていますが、近年南丹市において、これら差別が減ってきていると感じられますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
減ってきていると感じる	167	16.8	110	16.1
多少減ってきていると感じる	282	28.3	184	26.9
どちらともいえない	357	35.8	278	40.7
あまり減ってきているとは思えない	114	11.4	71	10.4
減ってきてはいない	51	5.1	33	4.8
無回答	25	2.5	7	1.0
合計	996	100.0	683	100.0



年齢が高くなるほど、差別は「減ってきていない」との回答が多い

「減ってきていると感じる」または「多少減ってきていると感じる」と回答された方は43.0%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

また、「あまり減ってきているとは思えない」または「減ってきてはいない」と回答された方は15.2%と、平成24年度調査と同様の結果となっています。

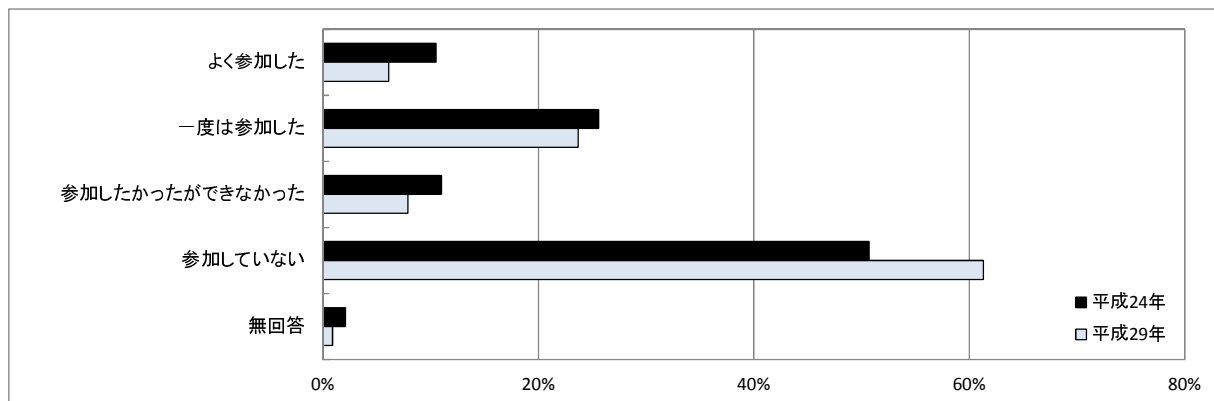
年齢別にみると、「あまり減ってきているとは思えない」または「減ってきてはいない」と回答された方は年齢が高くなるほど多くなっており、とくに70歳以上では66.7%となっています。

II アンケート調査結果

33

過去1年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
よく参加した	105	10.5	42	6.1
一度は参加した	255	25.6	162	23.7
参加したかったができなかった	110	11.0	54	7.9
参加していない	505	50.7	419	61.3
無回答	21	2.1	6	0.9
合計	996	100.0	683	100.0



市民の約7割が人権問題の勉強会等に参加していない

「よく参加した」または「一度は参加した」と回答された方は29.8%と、平成24年度調査より6.3ポイント減少しています。

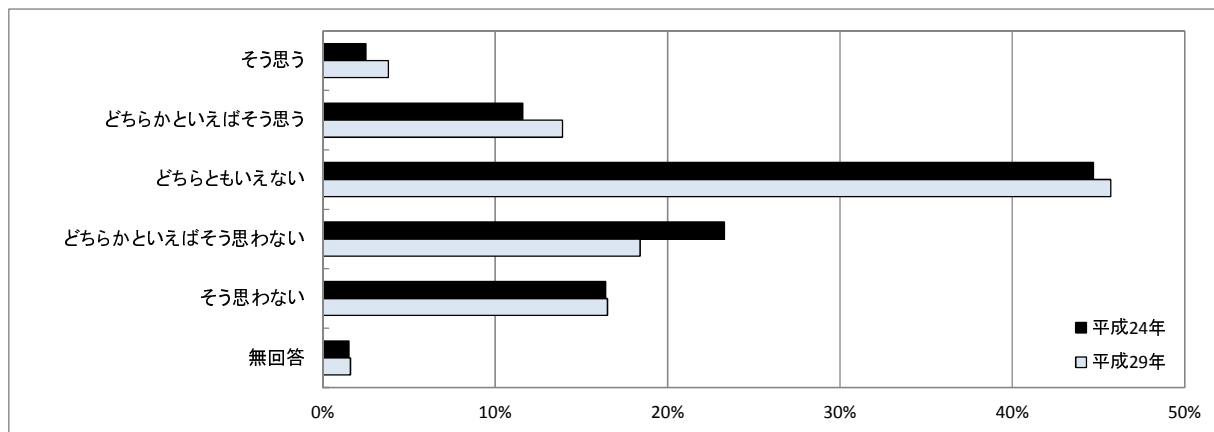
一方、「参加したかったができなかった」または「参加していない」と回答された方は69.2%と、平成24年度調査より7.5ポイント増加しており、市民の約7割が人権問題の勉強会等に参加していないと考えられます。

地域別にみると、八木・日吉では「参加したかったができなかった」または「参加していない」と回答された方は7割以上と、他の地域と比べて多くなっています。

34

市民の税金が南丹市のまちづくりに効果的に活用されていると思われますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	25	2.5	26	3.8
どちらかといえばそう思う	116	11.6	95	13.9
どちらともいえない	445	44.7	312	45.7
どちらかといえばそう思わない	232	23.3	126	18.4
そう思わない	163	16.4	113	16.5
無回答	15	1.5	11	1.6
合計	996	100.0	683	100.0



市民の3人に1人が「税金が効果的に活用されていない」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は17.7%と、平成24年度調査より3.6ポイント増加しています。

また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方は34.9%と、平成24年度調査より4.8ポイント減少しており、市民の3人に1人が「税金が効果的に活用されていない」と回答されています。

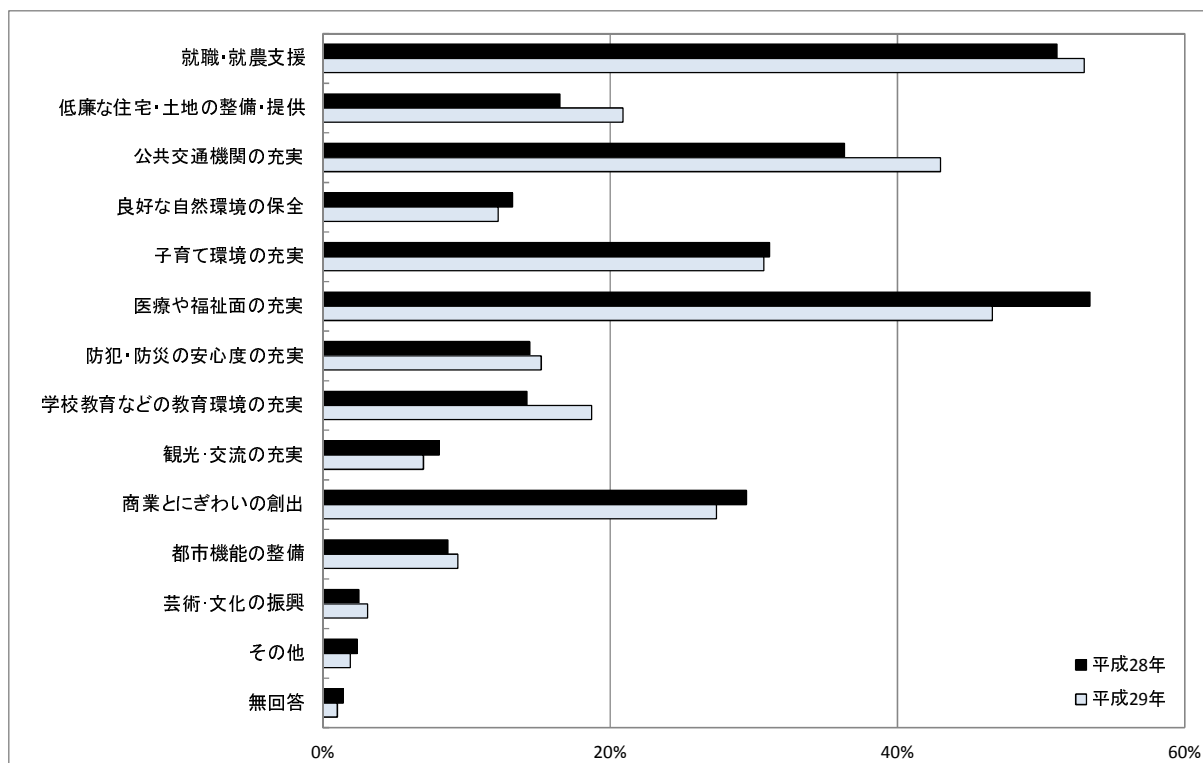
年齢別にみると、20歳代、40歳代、50歳代では「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方がそれぞれ4割以上と、他の年代と比べて多くなっています。

II アンケート調査結果

35

南丹市への定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきとお考えですか。《3つまで選択》

選 択 肢	平成28年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
就職・就農支援	409	51.1	362	53.0
低廉な住宅・土地の整備・提供	132	16.5	143	20.9
公共交通機関の充実	291	36.3	294	43.0
良好な自然環境の保全	106	13.2	83	12.2
子育て環境の充実	249	31.1	210	30.7
医療や福祉面の充実	428	53.4	318	46.6
防犯・防災の安心度の充実	115	14.4	104	15.2
学校教育などの教育環境の充実	114	14.2	128	18.7
観光・交流の充実	65	8.1	48	7.0
商業とにぎわいの創出	236	29.5	187	27.4
都市機能の整備	70	8.7	64	9.4
芸術・文化の振興	20	2.5	21	3.1
その他	19	2.4	13	1.9
無回答	11	1.4	7	1.0
合計	801	-	683	-



南丹市への定住を促進するために力を入れるべきこと

「就業・就農支援」が53.0%と最も多く、次いで「医療や福祉面の充実」が46.6%、「公共交通機関の充実」が43.0%となっています。

年齢別にみると、10歳代、20歳代では「公共交通機関の充実」、50歳代では「低廉な住宅・土地の整備・提供」が他の年代と比べて多くなっています。

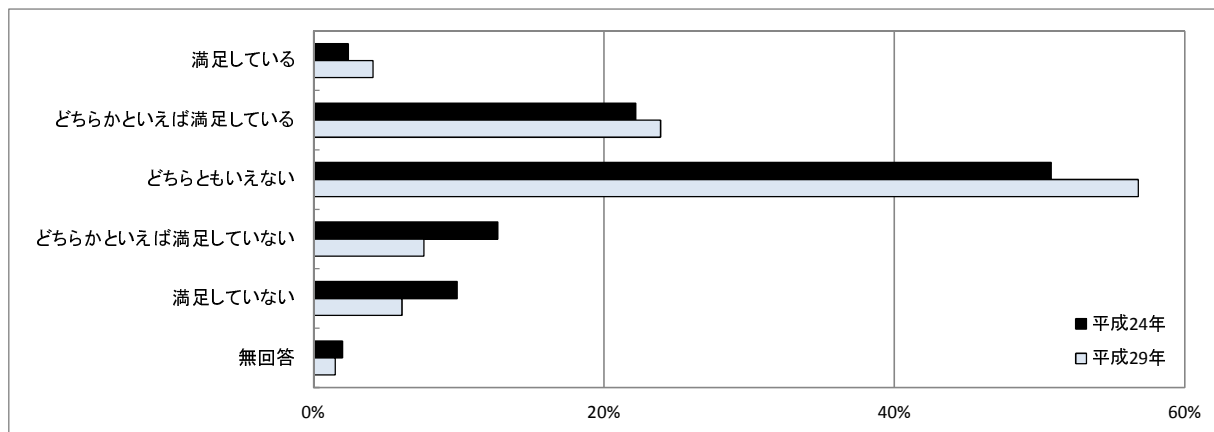
地域別にみると、園部では「医療や福祉面の充実」「防犯・防災の安心度の充実」、八木では「低廉な住宅・土地の整備・提供」「学校教育などの教育環境の充実」、日吉では「公共交通機関の充実」、美山では「医療や福祉面の充実」がそれぞれ多くなっています。

アンケート調査結果

36-1

総合的に見て、南丹市が行っている行政サービスに満足しておられますか。

選 択 肢	平成24年		平成29年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
満足している	24	2.4	28	4.1
どちらかといえば満足している	221	22.2	163	23.9
どちらともいえない	506	50.8	388	56.8
どちらかといえば満足していない	126	12.7	52	7.6
満足していない	99	9.9	42	6.1
無回答	20	2.0	10	1.5
合計	996	100.0	683	100.0



市民の半数以上が「行政サービスはどちらともいえない」と回答

「満足している」または「どちらかといえば満足している」と回答された方は28.0%と、平成24年度調査より3.4ポイント増加しています。

また、「どちらかといえば満足していない」または「満足していない」と回答された方は13.7%と、平成24年度調査より8.9ポイント減少しています。

しかし、「どちらともいえない」は56.8%と最も多く、平成24年度調査より6.0ポイント増加しています。

なお、年齢別・地域別等による明確な差はみられません。

36-2 南丹市が行っている行政サービスに満足していない点

問36で「4. どちらかといえば満足していない」または「5. 満足していない」と回答された方に、満足していない点についてお伺いしました。主なご意見の内容は次のとおりです。

- 買い物に行けない高齢者などへの対策が進んでいない点
- 高齢化や鳥獣被害への対策など、農業政策が十分でない点
- 市街地整備や道路整備などで旧4町の間には格差がある点
- バスなど、公共交通機関が十分でない点
- 歴史的建造物などの保全が十分でない点
- 公共施設の活用が十分でない点
- 教育環境や保育所の整備などが十分でない点
- 障がい者などへの支援が十分でない点
- 冬期の除雪作業が十分でない点
- 支所が行っている行政サービスが充分でない点
- 行政サービスの内容が不透明である点
- 行政に市民の意見を取り入れようとする姿勢がみられない点

37-1 南丹市に多くの人を訪れるようにするためには何をすべきだと思いますか。

※平成29年度調査より新たに追加された設問です。

南丹市への来訪者を増やすアイデアについて、ご提案をお伺いしましたところ、延べ382件のご提案をいただきました。主なご提案の内容は次のとおりです。

- | | |
|--------------------------|-----|
| ● 南丹市や名所、特産品などのPRに関するご提案 | 79件 |
| ● JRやバスなど公共交通機関に関するご提案 | 63件 |
| ● 商業施設や飲食店などに関するご提案 | 56件 |
| ● 祭りや各種イベントに関するご提案 | 42件 |
| ● 名所や名物の掘り起こしなどに関するご提案 | 30件 |
| ● 自然環境を活用した取り組みなどに関するご提案 | 21件 |
| ● 観光関連施設の充実に関するご提案 | 18件 |
| ● 観光に関わる人材などに関するご提案 | 13件 |
| ● 体験型観光に関するご提案 | 12件 |
| ● 宿泊施設の充実に関するご提案 | 11件 |
| ● 美山地域以外での観光の充実に関するご提案 | 10件 |
| ● 現状維持に関するご提案 | 4件 |
| ● 農家民泊に関するご提案 | 2件 |
| ● その他のご提案 | 21件 |

37-2 南丹市に多くの人々が定住するようにするためには何をすべきだと思いますか。

※平成29年度調査より新たに追加された設問です。

南丹市への定住者を増やすアイデアについて、ご提案をお伺いしましたところ、延べ603件のご提案をいただきました。主なご提案の内容は次のとおりです。

● 市内就職促進や企業誘致など、就労環境に関するご提案	116件
● JRやバスなど公共交通機関の充実に関するご提案	89件
● 住宅環境の充実に関するご提案	52件
● 子育て環境の充実に関するご提案	48件
● 商業施設や飲食店などの充実に関するご提案	45件
● 福祉環境の充実に関するご提案	32件
● 医療体制の充実に関するご提案	29件
● 教育環境の充実に関するご提案	29件
● 地域の受け入れ体制など、人やコミュニティに関するご提案	29件
● 空き家の活用に関するご提案	15件
● 自然環境・景観の保全や活用などに関するご提案	12件
● 補助金や各種支援など、行政サービスの充実に関するご提案	12件
● 駅周辺の開発に関するご提案	11件
● IターンやUターンなどの充実に関するご提案	10件
● 南丹市などのPRに関するご提案	10件
● 防犯・防災体制の充実に関するご提案	10件
● 農林業の充実に関するご提案	9件
● 公共料金などの負担軽減に関するご提案	8件
● 自治会活動などに関するご提案	6件
● 豪雪対策に関するご提案	3件
● 上下水道など、インフラ整備に関するご提案	3件
● 鳥獣被害対策に関するご提案	3件
● その他のご提案	22件

II アンケート調査結果

38

あなたにとって、「南丹市のお宝」、「南丹市の誇り」は何ですか。
差し支えなければ、地域名なども含めて、具体的にお教えてください。

※平成29年度調査より新たに追加された設問です。

南丹市のお宝や誇りについてお伺いしたところ、延べ408件のご意見をいただきました。主なご意見の内容は次のとおりです。

● 緑や水、空気などの自然環境	119件
● 美山かやぶきの里	34件
● 地域の人々	31件
● 美山町	21件
● 八木の花火大会	18件
● るり溪	14件
● 京都市や大阪市へのアクセスの良さ	13件
● 日吉ダム	12件
● 地域の歴史	10件
● 数多くある学校	10件
● 祭りなどの行事	9件
● 農産物や食べ物	9件
● 生身天満宮	8件
● 園部城跡	7件
● 子育てしやすい環境	7件
● ひよし温泉	6件
● 住環境	6件
● 八木町	5件
● 八木城	5件
● スプリングスひよし	5件
● 神社仏閣	5件
● 大堰川	5件
● 子ども	4件
● 芦生の森	4件
● 日吉町	3件
● 内藤ジョアン	3件
● 城下町（園部町）	3件
● 平和な地域であること	3件
● 九品寺	3件
● 木喰の里	2件
● 美山牛乳	2件
● 摩気神社	2件
● 南丹病院	2件
● 植生	2件
● その他	16件

まちづくりに対してご提案やご意見についてお伺いしたところ、延べ268件のご提案やご意見をいただきました。主なご提案やご意見の内容は次のとおりです。

- 園部の保育所は混んでいるが、他の町では混んでいない。子どもを分散させることはできないのか。
- 八木駅を使いやすくしてほしい。困っている人をいつも見かける。
- 京阪圏のベッドタウンになりきれていない。あと15分、京都に近くなると、京阪圏の感覚が強まる。
- 駐車場をもっと増やすと、多くの人が行き来するようになるのではないのか。
- 昼間のぐるりんバスは田園の中を走っているだけである。乗り合いタクシーのようににはできないのか。
- コミュニティバスを利用して、小学生の送迎をしてほしい。送迎の問題により、転出した夫婦もいる。
- 通学のためにバスの定期券を購入しても、便数がないため、ほとんどが送迎になってしまう。
- 希望者が利用しやすくなるよう、就学前療育の施設や定員に余裕を持たせてほしい。
- 学校の統廃合は仕方ないとしても、その後のフォローをしっかりしてほしい。
- 市営住宅があるにもかかわらず、空き室が多い状況が続いている。何とかならないのか。
- 市街化調整区域が多い場所なので、定住促進には、まずはその見直しが必要ではないのか。
- 中心部以外の図書館サービスが不十分で、生涯学習の支援ができていない。
- 図書館を18時まで利用できるようにし、休日についても祝日は開けてほしい
- 自転車にも注意喚起や看板設置を行い、安心できる道路にしてほしい。
- 八木の堰橋の坂の下には死角があり、鏡も見にくいいため、本当に危ない。
- 園部町中心部にも、お茶して話したりする場所がない。そもそも飲食店自体が少ない。
- 景観を守るための苦勞を理解してもらわないと、移住者と地域との間に軋轢が生じてしまう。
- 週末や仕事帰りには、亀岡や京都へ買い物に行ってしまう。南丹市でもっと消費できると嬉しい。
- 美山のイベント会場に行きたくても、遠すぎて行くことができない。
- 春、秋の祭りや花火大会など市民が集う行事がなくなっている。年に1回でもあるとよい。
- 伝統文化や社寺等のメンテナンスや保存にもう少し力を入れるべきではないのか。
- 大堰川沿いの土手を遊歩道として整備すると、地元の人以外も楽しめるスポットになるのでは。
- 休耕地を活用した取組をしてほしい。例えば、四季の花を植えて、景観を良くするなど。
- 大河ドラマの招聘を行ってほしい。周辺自治体では行っているが、当市ではできていない。
- 不可能だと思うが、本町、宮町通りを復活させると、町が盛り上がるのではないのか。
- 最近、猿や狸、イタチもよく現れる。野生動物の対策をしてほしい。
- 数年前の豪雨でがけ崩れになったところがある。もう一度、点検していただきたい。
- 船岡駅の正面から赤土の山肌が見えている。山の切り崩しに対して、市は強く出てほしい。
- 冬期の安全通勤対策を行ってほしい。園部、日吉の道路雪害には対応できないのか。
- 山の手入れや田畑の整備、市道の草刈りなど、高齢者ができないことを行政が行ってほしい。
- 支所の存続は難しいとは思いますが、自然災害が多発している状況においては必要不可欠である。
- 消防団の新入団員の獲得に苦心している。行政からも促進してもらいたい。
- 日吉支所でもったいない屋が解散され、大変残念に思っている。
- 「旧町」を忘れさせてくれるまちづくりが必要になってきている。
- 市民の意見を出す機会は少ないので、このようなアンケートがあると嬉しい。
- 良いも悪いもない。子どもには優しい、老人には優しいなど、何かの特化してほしい。

— 平成 29 年度 —
「第2次南丹市総合振興計画」策定にかかる

市民意識調査

調査協力をお願い

南丹市では、平成20年3月に10年後（平成29年度）のまちの将来像や、その将来像を達成するための施策方針を示した「南丹市総合振興計画」を策定し、さまざまな施策を実施してまいりましたが、計画期間（平成20年度～平成29年度）の終わりが近づいてまいりました。

そこで、平成30年度以降のまちづくりの方針となる「第2次南丹市総合振興計画」を策定するにあたり市民の皆さんのご意見をお聞かせいただき、計画に反映させるため、無作為に選ばせていただいた2,500人の方を対象にアンケートを実施することといたしました。

なお、このアンケートは統計的に処理し、この目的以外に使用することはありませんので、何卒調査の趣旨をご理解いただき、格別のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成29年4月

南丹市長 佐々木 稔納

- この調査にご記入いただいた内容は、統計的に処理を行い、調査の目的以外に使用することは一切ございません。
- 宛名のご本人が、ご自身の実感や思い、また考えに基づいて市民意識調査（アンケート）に、ご回答ください。ご本人の記入が難しい場合は、家族の方などがご本人の立場で、意思を反映してご記入をお願いします。
- ご記入いただいた調査票は、**5月12日（金）まで**に、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。切手は不要です。
- 調査結果は、南丹市ホームページ（<http://www.city.nantan.kyoto.jp>）などで公表します。

各質問をお読みいただき、ご自身の率直なお気持ちやお考えに最も近い答えをご回答ください。

この調査に関するお問い合わせ先

南丹市 定住・企画戦略課 TEL (0771)68-0003 内線 1313

「第2次南丹市総合振興計画」にかかるまちづくりアンケート

まず、あなたご自身についてお教えてください。(統計結果の分析に活用させていただきます。)

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 18～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70歳以上	
住所	1. 團部町	2. 八木町	3. 日吉町	4. 美山町
職業	1. 自営業・農林漁業	2. 会社員・公務員など	3. 学生	4. 家事専業
	5. パート・アルバイト	6. 無職	7. その他 ()	
居住年数	1. 1年未満	2. 1～4年	3. 5～9年	4. 10～14年
	5. 15～19年	6. 20年以上		

◆南丹市の住みごころについてお聞きします

問1 南丹市は住みやすいと思いますか。

1. 住みやすい → 問2へ
2. どちらかという住みやすい → 問2へ
3. どちらかという住みにくい → 問3へ
4. 住みにくい → 問3へ

回答欄

問2 問1で「1. 住みやすい」「2. どちらかという住みやすい」を選んだ方にお聞きします。住みやすいと思う理由は何ですか。(3つまで選んでください)

1. 自然環境に恵まれているから
2. 道路が整っているから
3. 鉄道やバスが便利だから
4. 市外への通勤通学に便利だから
5. 農業や林業に適しているから
6. 企業などの働く場があるから
7. 医療や福祉サービスが充実しているから
8. 子育て環境が充実しているから
9. 教育環境が充実しているから
10. 学習やスポーツ活動の機会が充実しているから
11. 買い物など日常生活に便利だから
12. 近所づきあいがしやすいから
13. 防犯や防災の面で安心だから
14. 余暇や娯楽を楽しみやすいから
15. その他 ()

回答欄

問3

問1で「3. どちらかというに住みにくい」「4. 住みにくい」を選んだ方にお聞きします。
住みにくいと思う理由は何ですか。《3つまで選んでください》

1. 自然環境が大切にされていないから
2. 道路が整っていないから
3. 鉄道やバスが不便だから
4. 市外への通勤通学に不便だから
5. 農業や林業を続けるには厳しいから
6. 企業などの働く場が少ないから
7. 医療や福祉サービスが不十分だから
8. 子育て環境が不十分だから
9. 教育環境が不十分だから
10. 学習やスポーツ活動の機会が不十分だから
11. 買い物など日常生活に不便だから
12. 近所づきあいがしにくいから
13. 防犯や防災の面で不安だから
14. 余暇や娯楽を楽しむ機会が少ないから
15. その他（ ）

回答欄

問4

あなたは、今後も南丹市に住み続けたいですか。

1. ずっと住み続けたい
2. 当分は住み続けたい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

--

◆合併に対する評価についてお聞きします**問5**

合併から11年が経過しましたが、合併によって良くなったと思えることは何ですか。
《2つまで選んでください》

1. 各地域の個性が合わさって、まちの総合力が発揮されるようになった
2. 環境や福祉、土地利用などの取り組みが広く行われ、効果的になった
3. 保健福祉施設や文化施設などの公共施設がバランスよく配置された
4. 予算が一つに集約され、財政基盤が強化された
5. 専門的な職員が増えて、より高度な行政サービスとなった
6. 行政機構の効率化が図られた
7. 新しい取り組みがはじまり、活気のあるまちとなった
8. 特に良くなったことはない
9. その他（ ）

回答欄

◆まちづくりへの皆さんの参加などについてお聞きします

問 10 あなたは、南丹市が住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 11 あなたは、過去 1 年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか。

1. よく参加した
2. ときどき参加した
3. 参加したかったができなかった
4. 参加していない

回答欄

上記の問で1または2とお答えになった方にお伺いします。活動される際に、NPO やボランティア団体、地域団体などに参加されましたか。

1. 参加した
2. 参加しなかった

回答欄

「1. 参加した」とお答えになった方にお伺いします。差し支えなければ、団体名や団体の種類、活動内容についてお教えてください。

※お答えいただきました内容について、個人が特定されることは一切ございません。
(団体名)

(団体の種類)

1. NPO 2. ボランティア団体 3. 地域団体
4. その他 (団体の種類:)

回答欄

(活動内容)

問 12

住みよいまちづくりのためには、市民の皆さんの参加が必要です。

南丹市をもっと住みよいまちにするために、市民の皆さんができることはどのようなことだと思いませんか。《3つまで選んでください》

1. 市民が互いに協力し、地域を美しくすること
2. 地域で困っている人を地域が支え合うこと
3. 市民が互いに協力し、地域の安全を守ること
4. 地域の行事や祭りを担う後継者を育てること
5. 地域の公園や公共施設の管理などを地域で行うこと
6. 福祉や環境保全などのボランティア活動に参加すること
7. NPOなどの市民主体の団体・組織をつくること
8. 知識や技術のある市民が指導にあたるなど生涯学習に参画すること
9. 市の施策づくりに市民も参画し、意見を出すこと
10. その他（ ）
11. 特にない

回答欄

問 13

では、あなたが『地域のまちづくりに参加する』とすれば、どのようなことができますか。《3つまで選んでください》

1. 地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動
2. 森林や河川など自然環境の保護活動
3. リサイクル活動や省資源活動
4. 地域の交通安全や防災・防犯活動
5. 食や運動に関する健康づくり活動
6. 高齢者や障がい者を介助・支援する活動
7. 育児ボランティアなど、子育て支援活動
8. 子どもや青少年の健全育成活動
9. 生涯学習やスポーツ活動の指導・支援
10. 文化・芸術活動の指導・支援
11. 歴史や伝統行事などを守り育てる活動
12. その他（ ）
13. 特にない

回答欄

問 14

あなたは、地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、ご自分たちが引き継いでいかなければならないと思いませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 15

あなたは、ご自分の住んでいる地域において、大学などとさまざまな分野において、交流・連携が活発に行われていると思われませんか。

1. 活発に行われている
2. ある程度行われている
3. どちらともいえない
4. あまり行われていない
5. 全く行われていない

回答欄

◆子育てについてお聞きします

問 16

あなたは、南丹市が安心して子育てのできるまちだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 17

あなたは、ご自分の住んでいる地域において、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりができていると思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 18

あなたは、子どもたちが、児童数や生徒数、施設の状況も踏まえ、適切な教育環境で学んでいると思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄



問 19

あなたは、南丹市の保育所や幼稚園などで行われている乳幼児への保育・教育が、充実していると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

◆医療・福祉についてお聞きします

問 20

あなたは、南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 21

あなたは、南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 22

あなたは、南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄



問 23 あなたは、南丹市が妊婦の方にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

◆商業や生活環境についてお聞きします

問 24 あなたは、南丹市の商店街（商業）がにぎわっていると思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 25 あなたは、南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか。

1. そうしている
2. どちらかといえばそうしている
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそうしていない
5. そうしていない

回答欄

問 26 あなたは、南丹市において、自然環境が適切に守られていると思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 27 あなたは、南丹市において、美しい風景や町並みを守るため、個人などが新築、増改築する建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 28

あなたは、南丹市が発行する広報誌やホームページ、CATV などを通じて、市政について情報が的確に得られていると感じられますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

◆防災についてお聞きします

問 29

あなたは、災害に関する情報について、市からの的確に発信される体制が整備されていると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄



問 30

あなたは、台風や地震などの災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか。

1. 十分に準備している
2. ある程度準備している
3. 意識はしているが準備していない
4. まったく準備していない

回答欄

問 31

あなたは、南丹市が防災の面で、安心して暮らせるまちだと思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

◆社会問題についてお聞きます

問 32 世の中には、まだまだ性別や国籍、身体的障がいなどによる差別が残っていますが、あなたは、近年南丹市において、これら差別が減ってきていると感じますか。

1. 減ってきていると感じる
2. 多少減ってきていると感じる
3. どちらともいえない
4. あまり減ってきているとは思えない
5. 減ってきてはいない

回答欄

問 33 あなたは、過去1年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか。

1. よく参加した
2. 一度は参加した
3. 参加したかったができなかった
4. 参加していない

回答欄

◆行政サービスについてお聞きます

問 34 あなたは、市民の税金がまちづくりに効果的に活用されていると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 35 あなたは、南丹市への定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきとお考えですか？ 《主なものを3つまで選んでください》

1. 就職・就農の支援
2. 低廉な住宅・土地の整備・提供
3. 公共交通機関の充実
4. 良好な自然環境の保全
5. 子育て環境の充実
6. 医療や福祉面の充実
7. 防犯・防災の安心度の充実
8. 学校教育などの教育環境の充実
9. 観光・交流の充実
10. 商業とにぎわいの創出
11. 都市機能の整備
12. 芸術・文化の振興
13. その他（ ）

回答欄

問 36 あなたは、総合的に見て、南丹市が行っている行政サービスに満足しておられますか。

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない

回答欄

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。
どのような点が不満足ですか。具体的にお教えてください。

◆まちづくりについてのご意見などをお聞かせください

問 37 南丹市に多くの方が訪れるようにするためには何をすべきだと思いますか。
また、南丹市に多くの方が定住するようにするためには何をすべきだと思いますか。

南丹市に多くの方が訪れるようにするためには……

南丹市に多くの方が定住するようにするためには……

問 38

あなたにとって、「南丹市のお宝」、「南丹市の誇り」は何ですか。
差し支えなければ、地域名なども含めて、具体的にお教えてください。

問 39

南丹市の今後のまちづくりについてご提言、ご意見がありましたらお書きください。
また、行政全般についてお気づきの点がありましたらお書きください。
※この調査の性格上、頂いたご意見に対し、個別の回答はいたしかねますのでご了承ください。

アンケートは以上です。

お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。